



## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **11120237 A**

(43) Date of publication of application: 30 . 04 . 99

(51) Int. Cl.

G06F 17/60

**G06F 19/00**

(21) Application number: 09279144

(71) Applicant: **RECRUIT CO LTD**

(22) Date of filing: 13 . 10 . 97

(72) Inventor: YAMAMOTO SO

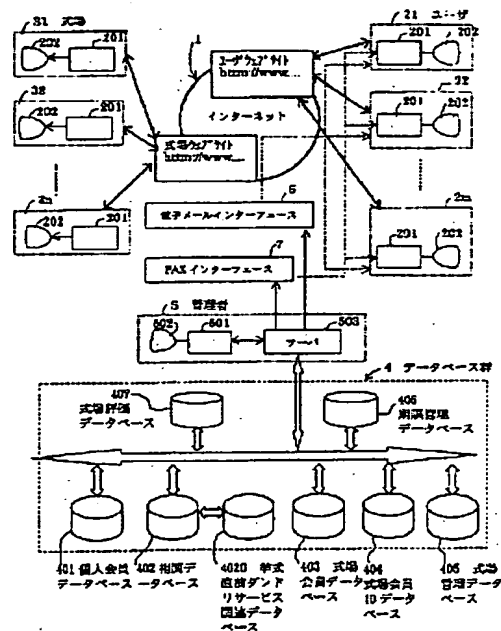
**(54) EVENT BOOKING SYSTEM**

(57) Abstract

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide the event booking system which enables a user to surely advance event preparations without delay.

**SOLUTION:** This system is equipped with a server 503 to which more than one user terminal is connected through a network, a 1st data base 401 which stores date and time information on the day and time of an event, a 2nd data base 406 which stores items to be processed before and after the event together with time information showing the periods wherein the items are processed, and an interface device 6. The server 503 reads the date and time information out of the 1st data base 401 and collates it with the time information on the event read out of the 2nd data base 406; when it is decided that there is the item to be processed, information for informing a user terminal 2x of the item is generated and sent from the interface device 6 to the user terminal 2x.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO



(19) 日本国特許庁 (JP)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平 11-120237

(43) 公開日 平成11年(1999)4月30日

(51) Int. Cl.<sup>6</sup>

G 0 6 F 17/60

19/00

識別記号

F I

G 0 6 F 15/21

15/26

Z

審査請求 未請求 請求項の数 22 OL

(全 37 頁)

(21) 出願番号 特願平 9-279144

(22) 出願日 平成9年(1997)10月13日

(71) 出願人 000139012

株式会社リクルート

東京都中央区銀座8丁目4番17号

(72) 発明者 山本 創

東京都中央区銀座8-4-17 株式会社リクルート内

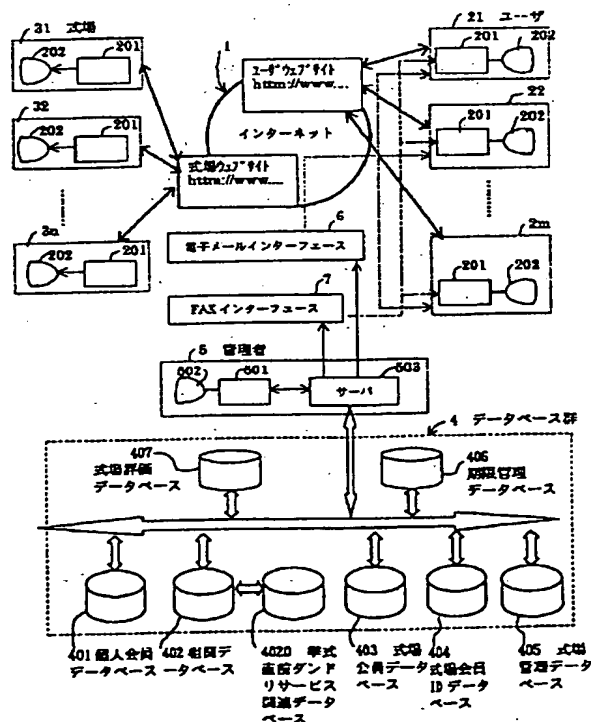
(74) 代理人 弁理士 稲葉 良幸 (外2名)

(54) 【発明の名称】 イベント予約システム

(57) 【要約】

【課題】 利用者がイベント準備を遅れることなく確実に進めることのできるイベント予約システムの提供。

【解決手段】 1以上の利用者端末に対しネットワークを介して接続されるサーバ(503)と、イベントの実施日時である日時情報を蓄積する第1データベース(401)と、前記イベントの前後において処理すべき事項をその事項が処理されるべき時期を示した時間情報とともに蓄積する第2データベース(406)と、インターフェース装置(6)と、を備える。サーバ(503)は、第1データベース(401)から日時情報を読み取って、第2データベース(406)から読み取ったイベントの時間情報とを照合し、処理すべき前記事項があると判定した場合、この事項を利用者端末(2x)に知らせるための情報を生成し、この情報をインターフェース装置(6)からこの利用者端末(2x)に送信する。



**【特許請求の範囲】**

【請求項1】 利用者によって操作される1以上の利用者端末に対しネットワークを介して接続されるサーバと、

前記サーバから参照可能に接続され、前記利用者端末から指定されたイベントの実施日時である日時情報を蓄積する第1データベースと、

前記サーバから参照可能に接続され、前記イベントの前後において処理すべき事項をその事項が処理されるべき時期を示した時間情報とともに蓄積する第2データベースと、

前記サーバから前記利用者端末に情報を供給するためのインターフェース装置と、を備え、

前記サーバは、所定の時期に、前記第1データベースから日時情報を読み取って、この日時情報と前記第2データベースから読み取った当該イベントの時間情報とを照合し、照合の結果、処理すべき前記事項があると判定した場合には、当該事項を前記日時情報に対応した利用者端末に知らせるための情報を生成し、この情報を前記インターフェース装置からこの利用者端末に送信することを特徴とするイベント予約システム。

【請求項2】 利用者によって操作される1以上の利用者端末に対しネットワークを介して接続されるサーバと、

前記サーバから参照可能に接続され、前記利用者端末から指定されたイベントの実施日時である日時情報を蓄積する第1データベースと、

前記サーバから参照可能に接続され、前記イベントの前後において処理すべき事項をその事項が処理されるべき時期を示した時間情報とともに蓄積する第2データベースと、を備え、

前記サーバは、所定の時期に、前記第1データベースから日時情報を読み取って、この日時情報と前記第2データベースから読み取った当該イベントの時間情報とを照合し、照合の結果、処理すべき前記事項があると判定した場合には、当該事項を前記日時情報に対応した利用者端末に知らせるためのファイルを生成し、この利用者端末から参照可能に当該ネットワーク上のメモリに格納することを特徴とするイベント予約システム。

【請求項3】 前記第2データベースに蓄積される時間情報は、このイベントの実施日時と前記事項を処理すべき時期との時間差を示すものであって、

前記サーバは、前記第1データベースから読み取った日時情報を参照して、当該イベントの実施日時と当該日時情報を読み取った日時との時間差を演算し、演算した時間差と前記第2データベースから読み取った時間情報とを照合する請求項1または請求項2に記載のイベント予約システム。

【請求項4】 前記第2データベースに蓄積される時間情報は、前記事項を処理すべき時期を示す絶対的な日時

であって、

前記サーバは、前記第1データベースから読み取った日時情報および前記第2データベースから読み取った時間情報を参照して、当該イベントの実施日時と前記事項を処理すべき日時とを照合する請求項1または請求項2に記載のイベント予約システム。

【請求項5】 利用者によって操作される1以上の利用者端末およびイベント提供者が操作するための1以上のイベント提供者端末に対し、ネットワークを介して相互に接続されるサーバと、

前記イベントに関する1以上の項目について前記イベント提供者が対応可能か否かを示す対応可否データを前記イベント提供者ごとに格納する第1データベースと、

前記イベント提供者に関する属性情報をイベント提供者ごとに格納する第2データベースと、を備え、

前記サーバは、いずれかの利用者端末から当該利用者端末により選択された前記項目を示す選択情報が送信された場合に、当該選択情報に基づいて前記第1データベースを検索し、当該選択された項目について対応可能なイベント提供者を抽出し、抽出されたイベント提供者に関する属性情報を前記第2データベースから読み出して当該イベント提供者を表示するためのファイルを生成し、前記選択情報を送信した利用者端末から参照可能に当該ネットワーク上のメモリに格納することを特徴とするイベント予約システム。

【請求項6】 前記第1データベースは、前記対応可否データに対応させて当該対応可能な項目を特徴付けるキーワードを格納し、前記利用者端末から送信される選択情報は文字情報であって、

前記サーバは、前記利用者端末から送信される選択情報に含まれる語句を抽出し、前記選択情報から抽出した語句に前記キーワードが含まれる場合には当該キーワードに基づいて前記第1データベースを検索し、当該キーワードに対応付けられている前記イベント提供者を抽出する請求項5に記載のイベント予約システム。

【請求項7】 前記利用者端末から送信される選択情報は複数の部分からなり、

前記サーバは、前記イベント提供者を抽出する際に、前記複数の部分のうち、いずれの部分に前記キーワードが含まれていたかにより異なる配点を行いながら、前記イベント提供者ごとに点数を積算し、当該積算された点数の多少に対応させて抽出された前記イベント提供者を並べて表示するための前記ファイルを作成する請求項6に記載のイベント予約システム。

【請求項8】 前記利用者端末から送信される選択情報は、前記イベント提供者が対応可能な項目ごとにその重み付けを与える係数を含み、

前記サーバは、前記イベント提供者を抽出する際に、前記対応可否データが対応可能であることを示している項目について当該項目について重み付けがされた前記係数

を乗算しながら、前記イベント提供者ごとに点数を積算し、当該積算された点数の多少に対応させて抽出された前記イベント提供者を並べて表示するための前記ファイルを作成する請求項 5 に記載のイベント予約システム。

【請求項 9】 利用者によって操作される 1 以上の利用者端末に対しネットワークを介して接続されるサーバと、

既にイベントを執り行った利用者が、当該イベントを提供したイベント提供者を所定の項目ごとに評価した点数を、前記イベント提供者に対応させて格納するデータベースと、を備え、

前記サーバは、前記利用者端末から新たな前記点数が送信された場合に、この点数に基づいて当該点数に対応するイベント提供者を評価する点数を演算し、前記データベースに格納することを特徴とするイベント予約システム。

【請求項 10】 前記サーバは、前記項目ごとに、複数の前記利用者端末から送信された点数の平均点を演算し、これらを当該イベント提供者における各前記項目を評価する点数として前記データベースに格納する請求項 9 に記載のイベント予約システム。

【請求項 11】 前記サーバは、一の前記イベント提供者における複数の前記指数をさらに平均した平均指数を、当該イベント提供者を総合的に評価する指数として前記データベースに格納する請求項 10 に記載のイベント予約システム。

【請求項 12】 前記サーバは、前記イベント提供者に関する属性情報を前記データベースから読み出して、当該イベント提供者を表示するためのファイルを生成し、前記利用者端末から参照可能に当該ネットワーク上のメモリに格納するものであって、前記ファイルを生成する際に、前記データベースに格納された指数を、表示すべき情報に含ませるとともに、総ての前記イベント提供者における前記指数を平均した総合平均点も表示すべき情報に併せて含ませる請求項 9 乃至請求項 11 のいずれか一項に記載のイベント予約システム。

【請求項 13】 利用者によって操作される 1 以上の利用者端末およびイベント提供者が操作するための 1 以上のイベント提供者端末に対し、ネットワークを介して相互に接続されるサーバと、

前記イベントを実行可能か否かの予定を表す空き情報を前記イベント提供者ごとに格納するデータベースと、を備え、

前記サーバは、前記利用者端末から一の前記イベント提供者の空き状況問い合わせ要求が送信された場合に、当該イベント提供者の空き情報を前記データベースから読み出して、当該イベント提供者を表示するためのファイルを生成し、前記利用者端末から参照可能に当該ネットワーク上のメモリに格納することを特徴とするイベント

予約システム。

【請求項 14】 前記サーバは、前記空き状況問い合わせ要求として前記利用者端末からイベントを実行したい日時を示す時間情報が送信された場合に、前記データベースを当該時間情報に基づいて検索し、当該イベントを開催したい日時に当該イベントが実行可能である旨を示しているイベント提供者を抽出し、抽出されたイベント提供者を表示するためのファイルを生成する請求項 13 に記載のイベント予約システム。

10 【請求項 15】 前記サーバは、前記空き状況問い合わせ要求として前記利用者からイベントを実行したい日時を示す時間情報および当該イベントを実行したいイベント提供者情報が送信された場合に、前記データベースを当該時間情報およびイベント提供者情報に基づいて検索し、イベント提供者情報の示すイベント提供者が時間情報の示す日時に当該イベントを実行可能であるか否かを表示するためのファイルを生成する請求項 13 に記載のイベント予約システム。

20 【請求項 16】 前記サーバは、前記イベント提供者端末から当該イベント提供者の空き情報が送信された場合に、当該空き情報を前記データベースに格納し、前記利用者端末から前記空き状況問い合わせ要求が送信された場合に、前記イベント提供者の空き情報を暦により表示するファイルを生成する請求項 13 に記載のイベント予約システム。

【請求項 17】 利用者によって操作される 1 以上の利用者端末およびイベント提供者が操作するための 1 以上のイベント提供者端末に対し、ネットワークを介して相互に接続されるサーバと、

30 前記イベント提供者に対する前記利用者からの要求事項を格納するデータベースと、を備え、前記サーバは、前記利用者端末から前記イベント提供者に対する要求情報が送信された場合に、当該要求情報を前記データベースに格納し、

40 いずれかのイベント提供者端末から要求事項問い合わせ要求が送信された場合に、前記データベースを検索し、当該イベント提供者に対して送信された前記要求情報を各々の要求情報を送信した前記利用者端末と対応付けて表示するためのファイルを生成し、当該イベント提供者端末から参照可能に当該ネットワーク上のメモリに格納することを特徴とするイベント予約システム。

【請求項 18】 前記利用者端末からの要求情報は、当該イベント提供者に対する資料請求に関するものである請求項 17 に記載のイベント予約システム。

【請求項 19】 前記利用者端末からの要求情報は、当該イベント提供者を利用者が訪問するための訪問予約に関するものである請求項 17 に記載のイベント予約システム。

50 【請求項 20】 前記利用者端末からの要求情報は、前記イベントを予約する旨をイベント実行希望日とともに

示すイベント予約に関するものである請求項17に記載のイベント予約システム。

【請求項21】 利用者によって操作される1以上の利用者端末およびイベント提供者が操作するための1以上のイベント提供者端末に対し、ネットワークを介して相互に接続されるサーバと、

前記イベントで利用者が要求する項目を示した項目情報を格納する第1データベースと、

前記イベントの費用を当該イベントの項目ごとに示した費用情報を格納する第2データベースと、を備え、

いずれかの利用者端末から予算問い合わせ要求が送信された場合に、前記第1データベースから当該利用者により選択された項目を抽出し、前記第2データベースから当該選択された項目に対応する費用を抽出し、当該選択された項目と各項目に対応する費用とを対応付けて表示するためのファイルを生成し、当該利用者端末から参照可能に当該ネットワーク上のメモリに格納することを特徴とするイベント予約システム。

【請求項22】 前記サーバは、前記利用者端末から前記イベントで要求する項目を示す項目情報が送信された場合に、当該項目情報を前記第1データベースに格納し、

前記イベント提供者端末から当該イベントの各項目にかかる費用を示す費用情報が送信された場合に、当該費用情報を当該イベントの項目に対応させて前記第2データベースに格納する請求項21に記載のイベント予約システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、インターネット等のネットワークを利用したイベント予約システムに係わり、特に、結婚式等の大規模なイベントを実行する場合に、挙式予定者である利用者および結婚式場提供者であるイベント管理者双方に便宜なシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】 インターネットが急速に普及したことにより、利用者は、ワールド・ワイド・ウェブ (World Wide Web: 以下WWWと略す) というインターネット上のシステムを利用して、任意のウェブサイト (web site) から文字情報、画像情報および音声情報を取得できるようになった。

【0003】 イベント提供者が、イベントに関する情報をネットワークを介して提供するには、イベントに関する情報をハイパーテキスト形式のファイルとして所定のウェブサイトへ格納する。そしてユーザにメディアを介してインターネット上のアドレスであるURL (Universal Resource Locator) を知らせたり、このURLをインターネット上の検索サービスに登録したりする。

【0004】 利用者は、特定のイベント提供者のウェブサイトへ接続するために、インターネットへ接続された

コンピュータ等の端末装置 (以下、「利用者端末」と称する) からこのイベント提供者のURLを指定する。利用者端末がこのウェブサイトへ接続すると、ハイパーテキスト形式のファイルが利用者端末へ提供される。利用者端末では、このハイパーテキスト形式のファイルを開覧するためのソフトウェアであるWWWブラウザを利用して、その表示画面であるウェブページをディスプレイに表示させることができる。

【0005】 従来、結婚式等のイベントに関するウェブサイトは、例えば個々の結婚式場提供業者が独自に開設するウェブサイトであったり、結婚斡旋業者が複数の式場を紹介するためのウェブサイトであったりした。結婚が決まった利用者は、このウェブサイトへアクセスして情報を入手するほか、情報誌等を利用して結婚式場を決めていた。そして実際の結婚式を決める段階で、複数の結婚式場に電話して予約状況を確認してから、結婚式の仮予約をしていた。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、従来、結婚式場の選択から予約、さらに結婚式当日までの段取りを総合的に管理できるイベント予約システムはなかった。インターネットを介して利用者が何からの問い合わせができる上記システムはあったが、多くの式場と連携して総合的な式場検索や問い合わせが行えるものではなかった。

【0007】 特に、結婚式のような大規模なイベントの場合には、利用者は、式場の選択以外にも多くの段取り事項を結婚予定日から遡って順に着実に進めて行かねばならない。ところがこのような面倒な段取りの期限管理について有効な支援をするシステムがなかった。

【0008】 また、近年利用者の結婚式に対する要求が多様化している。これに対してブライダル産業も、利用者の趣味に応じて多様な挙式内容を提供するようになってきた。しかし、利用者側にとっては、抽象的な希望を元に、希望の結婚予定日に希望する内容の結婚式が挙げられる結婚式場を、多くの結婚式場の中から効率よく見つけ出すのは至難のことであった。

【0009】 上記問題点を鑑み、本発明は、結婚式のような大規模なイベントを予約する際に、利用者およびイベント提供者双方に便宜なイベント予約システムを提供することを目的とする。

【0010】 このため、本発明の第1の課題は、イベント実施日時が定まった利用者に対して、段取りが必要な事項を適時に提供可能な構成を備えることにより、利用者がイベント準備を遅れることなく確実に進めることのできるイベント予約システムを提供することである。

【0011】 本発明の第2の課題は、利用者の抽象的な要望事項に基づいてイベント提供者を抽出可能な構成を備えることにより、利用者の多様な趣味に合致したイベント提供者を、多くのイベント提供者の中から確実に、

かつ、簡単に見つけることのできるイベント予約システムを提供することである。

【0012】本発明の第3の課題は、実際にイベントを経験した利用者によるイベント提供者の評価を参照可能な構成を備えることにより、利用者側から見た評価に基づいて、新たな利用者が適切なイベント提供者を選択でき、イベント提供者側もサービスの向上を図ることのできるイベント予約システムを提供することである。

【0013】本発明の第4の課題は、利用者がイベントを実施したい日時にイベントを提供可能なイベント提供者を抽出可能な構成を備えることにより、イベント実施日時の調整やイベント提供者の選択を、確実に、かつ、容易に行えるイベント予約システムを提供することである。

【0014】本発明の第5の課題は、利用者側からイベント提供者に対して各種要求が行える構成を備えることにより、利用者がいずれのイベント提供者に対しても統一した手順で、容易に資料請求や各種予約が行え、イベント提供者も複数の利用者からの要求を容易に把握できるイベント予約システムを提供することである。

【0015】本発明の第6の課題は、利用者がイベントを開催する際に、自らが要求したイベントの内容について必要とされる予算を提示可能な構成を備えることにより、利用者およびイベント提供者が、確実に、かつ、容易に予算を把握できるイベント予約システムを提供することである。

#### 【0016】

【課題を解決するための手段】上記第1の課題を解決する発明は、(a)利用者によって操作される1以上の利用者端末に対しネットワークを介して接続されるサーバと、(b)サーバから参照可能に接続され、利用者端末から指定されたイベントの実施日時である日時情報を蓄積する第1データベースと、(c)サーバから参照可能に接続され、イベントの前後において処理すべき事項をその事項が処理されるべき時期を示した時間情報とともに蓄積する第2データベースと、(d)サーバから利用者端末に情報を供給するためのインターフェース装置と、を備える。

【0017】そして、サーバは、所定の時期に、第1データベースから日時情報を読み取って、この日時情報と第2データベースから読み取った当該イベントの時間情報とを照合し、照合の結果、処理すべき事項があると判定した場合には、当該事項を日時情報に対応した利用者端末に知らせるための情報を生成し、この情報をインターフェース装置からこの利用者端末に送信する。

【0018】また、本発明は、(a)利用者によって操作される1以上の利用者端末に対しネットワークを介して接続されるサーバと、(b)サーバから参照可能に接続され、利用者端末から指定されたイベントの実施日時である日時情報を蓄積する第1データベースと、(c)サーバ

から参照可能に接続され、イベントの前後において処理すべき事項をその事項が処理されるべき時期を示した時間情報とともに蓄積する第2データベースと、を備える。

【0019】そして、サーバは、所定の時期に、第1データベースから日時情報を読み取って、この日時情報と第2データベースから読み取った当該イベントの時間情報とを照合し、照合の結果、処理すべき事項があると判定した場合には、当該事項を日時情報に対応した利用者端末に知らせるためのファイルを生成し、この利用者端末から参照可能に当該ネットワーク上のメモリに格納する。

【0020】このとき、第2データベースに蓄積される時間情報は、このイベントの実施日時と事項を処理すべき時期との時間差を示すものであって、サーバは、第1データベースから読み取った日時情報を参照して、当該イベントの実施日時と当該日時情報を読み取った日時との時間差を演算し、演算した時間差と第2データベースから読み取った時間情報とを照合するよう構成することが好ましい。

【0021】また、第2データベースに蓄積される時間情報は、事項を処理すべき時期を示す絶対的な日時であって、サーバは、第1データベースから読み取った日時情報および第2データベースから読み取った時間情報を参照して、当該イベントの実施日時と事項を処理すべき日時とを照合することは好ましい。

【0022】上記第2の課題を解決する発明は、(a)利用者によって操作される1以上の利用者端末およびイベント提供者が操作するための1以上のイベント提供者端末に対し、ネットワークを介して相互に接続されるサーバと、(b)イベントに関する1以上の項目についてイベント提供者が対応可能か否かを示す対応可否データをイベント提供者ごとに格納する第1データベースと、(c)イベント提供者に関する属性情報をイベント提供者ごとに格納する第2データベースと、を備える。

【0023】そして、サーバは、いずれかの利用者端末から当該利用者端末により選択された項目を示す選択情報が送信された場合に、当該選択情報に基づいて第1データベースを検索し、当該選択された項目について対応可能なイベント提供者を抽出し、抽出されたイベント提供者に関する属性情報を第2データベースから読み出して当該イベント提供者を表示するためのファイルを生成し、選択情報を送信した利用者端末から参照可能に当該ネットワーク上のメモリに格納する。

【0024】このとき、第1データベースは、対応可否データに対応させて当該対応可能な項目を特徴付けるキーワードを格納し、利用者端末から送信される選択情報は文字情報であって、サーバは、利用者端末から送信される選択情報に含まれる語句を抽出し、選択情報から抽出した語句にキーワードが含まれる場合には当該キー

ードに基づいて第1データベースを検索し、当該キーワードに対応付けられているイベント提供者を抽出することは好ましい。

【0025】また、利用者端末から送信される選択情報は複数の部分からなり、サーバは、イベント提供者を抽出する際に、複数の部分のうち、いずれの部分にキーワードが含まれていたかにより異なる配点を行いながら、イベント提供者ごとに点数を積算し、当該積算された点数の多少に対応させて抽出されたイベント提供者を並べて表示するためのファイルを作成することは好ましい。

【0026】さらに、利用者端末から送信される選択情報は、イベント提供者が対応可能な項目ごとにその重み付けを与える係数を含み、サーバは、イベント提供者を抽出する際に、対応可否データが対応可能であることを示している項目について当該項目について重み付けがされた係数を乗算しながら、イベント提供者ごとに点数を積算し、当該積算された点数の多少に対応させて抽出されたイベント提供者を並べて表示するためのファイルを作成することは好ましい。

【0027】上記第3の課題を解決する発明は、(a)利用者によって操作される1以上の利用者端末に対しネットワークを介して接続されるサーバと、(b)既にイベントを執り行った利用者が、当該イベントを提供したイベント提供者を所定の項目ごとに評価した点数を、イベント提供者に対応させて格納するデータベースと、を備える。

【0028】そして、サーバは、利用者端末から新たな点数が送信された場合に、この点数に基づいて当該点数に対応するイベント提供者を評価する点数を演算し、データベースに格納する。

【0029】このとき、サーバは、項目ごとに、複数の利用者端末から送信された点数の平均点を演算し、これらを当該イベント提供者における各項目を評価する点数としてデータベースに格納することは好ましい。

【0030】さらに、サーバは、一のイベント提供者における複数の指数をさらに平均した平均指数を、当該イベント提供者を総合的に評価する指数としてデータベースに格納することは好ましい。

【0031】さらに、サーバは、イベント提供者に関する属性情報をデータベースから読み出して、当該イベント提供者を表示するためのファイルを生成し、利用者端末から参照可能に当該ネットワーク上のメモリに格納するものであって、ファイルを生成する際に、データベースに格納された指数を、表示すべき情報に含ませるとともに、総てのイベント提供者における指数を平均した総合平均点も表示すべき情報に併せて含ませることは好ましい。

【0032】上記第4の課題を解決する発明は、(a)利用者によって操作される1以上の利用者端末およびイベント提供者が操作するための1以上のイベント提供者端

末に対し、ネットワークを介して相互に接続されるサーバと、(b)イベントを実行可能か否かの予定を表す空き情報をイベント提供者ごとに格納するデータベースと、を備える。

【0033】そして、サーバは、利用者端末から一のイベント提供者の空き状況問い合わせ要求が送信された場合に、当該イベント提供者の空き情報をデータベースから読み出して、当該イベント提供者を表示するためのファイルを生成し、利用者端末から参照可能に当該ネットワーク上のメモリに格納する。

【0034】このとき、サーバは、空き状況問い合わせ要求として利用者端末からイベントを実行したい日時を示す時間情報が送信された場合に、データベースを当該時間情報に基づいて検索し、当該イベントを開催したい日時に当該イベントが実行可能である旨を示しているイベント提供者を抽出し、抽出されたイベント提供者を表示するためのファイルを生成することは好ましい。

【0035】また、サーバは、空き状況問い合わせ要求として利用者からイベントを実行したい日時を示す時間情報および当該イベントを実行したいイベント提供者情報が送信された場合に、データベースを当該時間情報およびイベント提供者情報に基づいて検索し、イベント提供者情報の示すイベント提供者が時間情報の示す日時に当該イベントを実行可能であるか否かを表示するためのファイルを生成することは好ましい。

【0036】さらに、サーバは、イベント提供者端末から当該イベント提供者の空き情報が送信された場合に、当該空き情報をデータベースに格納し、利用者端末から空き状況問い合わせ要求が送信された場合に、イベント提供者の空き情報を暦により表示するファイルを生成することは好ましい。

【0037】上記第5の課題を解決する発明は、(a)利用者によって操作される1以上の利用者端末およびイベント提供者が操作するための1以上のイベント提供者端末に対し、ネットワークを介して相互に接続されるサーバと、(b)イベント提供者に対する利用者からの要求事項を格納するデータベースと、を備える。

【0038】そして、サーバは、利用者端末からイベント提供者に対する要求情報が送信された場合に、当該要求情報をデータベースに格納し、いずれかのイベント提供者端末から要求事項問い合わせ要求が送信された場合に、データベースを検索し、当該イベント提供者に対して送信された要求情報を各々の要求情報を送信した利用者端末と対応付けて表示するためのファイルを生成し、当該イベント提供者端末から参照可能に当該ネットワーク上のメモリに格納することは好ましい。

【0039】このとき、利用者端末からの要求情報は、当該イベント提供者に対する資料請求に関するものであることは好ましい。

【0040】また、利用者端末からの要求情報は、当該

イベント提供者を利用者が訪問するための訪問予約に関するものであることも好ましい。

【0041】さらに利用者端末からの要求情報は、イベントを予約する旨をイベント実行希望日とともに示すイベント予約に関するものであることが好ましい。

【0042】上記第6の課題を解決する発明は、(a)利用者によって操作される1以上の利用者端末およびイベント提供者が操作するための1以上のイベント提供者端末に対し、ネットワークを介して相互に接続されるサーバと、(b)イベントで利用者が要求する項目を示した項目情報を格納する第1データベースと、(c)イベントの費用を当該イベントの項目ごとに示した費用情報を格納する第2データベースと、を備える。

【0043】そして、いずれかの利用者端末から予算問い合わせ要求が送信された場合に、第1データベースから当該利用者により選択された項目を抽出し、第2データベースから当該選択された項目に対応する費用を抽出し、当該選択された項目と各項目に対応する費用とを対応付けて表示するためのファイルを生成し、当該利用者端末から参照可能に当該ネットワーク上のメモリに格納する。

【0044】このとき、サーバは、利用者端末からイベントで要求する項目を示す項目情報が送信された場合に、当該項目情報を第1データベースに格納し、イベント提供者端末から当該イベントの各項目にかかる費用を示す費用情報が送信された場合に、当該費用情報を当該イベントの項目に対応させて第2データベースに格納することは好ましい。

【0045】

【発明の実施の形態】次に、本発明の好適な実施の形態を、図面を参照して説明する。

【0046】(ネットワーク構成)図1に、本実施形態のイベント予約システムの構成図を示す。同図に示すように、本実施形態のイベント予約システムは、インターネット1に、利用者端末21~2m(mは任意の自然数)、イベント提供者端末31~3n(nは任意の自然数)、データベース群4および管理者システム5を相互に接続して構成されている。

【0047】インターネット1は、利用者端末2x(xは1からmまでの任意の数)、イベント提供者端末3y(yは1からnまでの任意の数)および管理者システム5を、いわゆるプロバイダと呼ばれる接続業者の設備により、あるいはパソコン通信業者の設備により、公衆回線を介して相互に接続可能に構成されている。その通信プロトコルは、TCP/IP技術による。公衆回線は、加入者回線であっても専用線であってもよい。利用者端末2xおよびイベント提供者端末3yからは、WWWシステムを利用して、WWW上の任意のウェブサイトを特定するURLを指定することにより、どの端末からでもそのウェブサイトで提供されるウェブページを参照

することが可能に構成されている。例えば、各利用者端末2xは、ユーザ用に提供されているユーザウェブサイトと接続可能であり、各イベント提供端末3yは、結婚式場提供者用に提供されている式場ウェブサイトと接続可能に構成されている。

【0048】上記ユーザウェブサイトおよび式場ウェブサイトは、任意のプロバイダが管理するサーバの固定ディスク中に格納可能である。特に本実施形態では、管理者システム5のサーバ503が管理する固定ディスク内に設定されている。

【0049】なお、各端末を相互に接続するネットワークは、インターネット類似の機能を有するものであれば、他の規格の専用回線網、WAN等のネットワークであつてもよい。また、公衆回線を利用しないLANで構成されるイントラネットのようなネットワークであつてもよい。

【0050】利用者端末2xおよびイベント提供者3yは、パーソナルコンピュータシステムであつて、それぞれがコンピュータ装置201およびディスプレイ装置202を備えて構成されている。コンピュータ装置201は、汎用のコンピュータ装置であつて、内部に、図示しないCPU、通信インターフェース回路、モデム回路、描画回路、RAM、ROM、固定ディスク等を備え、モデム回路あるいはDSU及びTAを使用することにより、加入者回線または専用回線を介してインターネット1に接続可能に構成されている。ディスプレイ装置202は、コンピュータ装置201から出力された映像信号をその表示面に表示可能に構成されている。コンピュータ装置201は、ハイパーテキスト形式、例えばHTML(Hypertext Markup Language)形式のファイルを開

30 覧するためのプログラムである、いわゆるWWWブラウザを起動可能である。そしてユーザがこのWWWブラウザを使用して任意のURLを指定することで、インターネット1上のサーバコンピュータのウェブサイトに接続し、そのウェブページを表示等することが可能に構成されている。

【0051】管理者システム5は、コンピュータ装置501、ディスプレイ装置502およびサーバ503を備えている。コンピュータ装置501とディスプレイ装置502については、上記利用者端末におけるコンピュータ装置201およびディスプレイ装置202と同様である。

【0052】サーバ503は、内部に、図示しないCPU、描画回路、RAM、ROM、固定ディスク等を備える。特に、固定ディスク等に格納されたプログラムデータをCPUが実行することにより、本発明のイベント予約システムとして、任意のハイパーテキストファイルを生成し、ユーザウェブサイトや式場ウェブサイトに格納可能に構成されている。これらファイルの格納場所は、プロバイダ等により特有のURLが割り当てられてい



る。したがって、利用者端末2xやイベント提供者端末3yは、この特有のURLを指定して、サーバ503が管理するウェブサイトを参照可能な構成となっている。

【0053】データベース群4は、個人会員データベース401、相関データベース402、式場会員データベース403、式場会員IDデータベース404、式場管理データベース405、期限管理データベース406および式場評価データベース407により構成されている。各データベースは、一つの記憶装置を複数の領域に分割して使用されるものでも、別個の記憶装置にそれぞれ設けられるものでもよい。また、データベース群4はサーバ503が内部バスを通じて直接アクセス可能な記憶装置上に配置されるものでも、サーバ503と別の記憶装置に配置されるものでもよい。また、インターネットを介して接続可能であれば、ネットワーク上のいずれのサーバ内に配置されるものであってもよい。各データベースの管理は、一つのサーバによる集中管理方式によっても複数のコンピュータ装置による分散処理方式によってもよい。

【0054】電子メールインターフェース6は、サーバ503に接続され、サーバからインターネット1を介して利用者端末2xに電子メールを送信するためのインターフェースとして機能可能に構成されている。

【0055】ファックスインターフェース7は、サーバ503に接続され、サーバから加入者回線または専用回線を介してファクシミリ送信するためのインターフェースとして機能可能に構成されている。

【0056】なお、以下に説明するウェブページにはハイパーリンクが設定されており、ウェブページ上のいずれかのアイコンを選択すると、そのアイコンに設定されたURLにしたがって、次のウェブページが表示される。これら複数のウェブページを表示させるためのハイパーテキスト形式のファイル群は、サーバ503の管理する固定ディスク上にディレクトリからなる階層構造で格納されるものである。

【0057】(データベース構成)図2に、本イベント予約システムにおける各データベースのリレーションシップを示す。同図には、期限管理データベース406および式場評価データベース407を図示していない。

【0058】個人会員データベース401は、当該イベント予約システムを利用するユーザに関する基本情報を格納するもので、個人会員番号をキーとして、個人ID、パスワード、氏名、ふりがな、性別、血液型、年齢、住所、電子メールアドレス、電話番号、挙式予定日、挙式予算、希望挙式スタイル、相手氏名、そのふりがな、その性別、その血液型、その年齢等の各フィールドから構成されるレコードを、ユーザごとに格納して構成されている。

【0059】個人会員番号は、ユーザー一人に対し一つ割り当てられる固有の番号である。個人IDおよびパスワー

ドは、ユーザの認証に用いる。電子メールアドレスは、サーバ503が電子メールインターフェース6を介してユーザに情報を伝達するための送信先アドレスである。挙式予定日は、当該ユーザが結婚式を予定している日時である。希望挙式スタイルは、結婚式が神前式、教会式、人前式、仏前式のいずれかであることを示すコードである。

【0060】相関データベース402は、ユーザが結婚式場を予約したか否かを格納するもので、個人会員番号をキーとして、式場管理番号、相関フラグから構成されるレコードを、ユーザごとに格納して構成されている。相関フラグは、ユーザが結婚式場を予約しているか、予約していないか、あるいは挙式直前ダンドリサービスに申し込んでいるかに応じたステータスを示す。

【0061】式場会員データベース403は、結婚式場提供業者に関する基本情報を格納するもので、式場管理番号をキーとして、地域コード、エリア名、電話番号区分、電話番号、電話窓口名、所在都道府県コード、所在住所、交通、問い合わせ時間、定休日、駐車場台数、駐車場料金、予算、挙式スタイル区分、料理区分、最大収容人数、地図番号、こだわり検索フラグ群、写真情報、プラン情報等のフィールドから構成されるレコードを、結婚式場提供業者ごとに格納して構成されている。

【0062】式場管理番号は、結婚式場提供業者ごとに割り当てられる固有の番号である。挙式スタイル区分は、結婚式が神前式、教会式、人前式、仏前式のいずれかであることをフラグで示すものである。料理区分は、披露宴の料理がフランス料理、和風料理、中華料理、折衷料理のいずれであることをフラグで示すフィールドから構成されている。予算は、来賓者一人当たりの金額、あるいは単位人数(6.0人等)における総額を示している。地図番号は、式場のエリアを決定するもので、別の地図データベースに格納されている地図データの参照番号が記録されている。こだわり検索フラグ群は、後述するこだわり検索において使用するフラグで、挙式内容、料理内容、衣装内容、演出内容、施設内容について予め定めた項目について、その式場が対応可能であるか否かをフラグで示すフィールドから構成されている。写真情報は、ウェブサイトに表示する写真の分類、見出し、説明文を格納するフィールドから構成されている。プラン情報は、式場が特別に企画した結婚式プランについての詳細情報を示すもので、プランキャッチフレーズ、プラン名、人数、料金、割り増し料金、割引料金、適用人数、適用期間、挙式スタイル区分、料理飲み物区分、新郎衣装内容、新婦衣装内容、控え室区分、席料区分、美容着付け区分、音響照明区分、介添え区分、ケーキ区分、花内容、写真内容、印刷物内容、引き出物内容、特典等を示す各フィールドから構成されている。

【0063】上記こだわり検索について予め定められる項目としては、例えば以下のものが考えられる。挙式内

容については、独立型チャペルがあるか、バージンロードの長さが10m以上か、チャペルの天井の高さが7m以上か、外国人牧師による挙式が可能か、フラワーシャワーができるか、ライスシャワーができるか、チャペルの収容人数が80名以上か、神前で挙式ができるか、神前挙式で親族以外も列席可能か、生雅楽、巫女の舞などの演出ができるか、人前式ができるか、仏前式ができるか、アトリウム・ロビーで挙式できるか、ガーデン挙式ができるか、挙式のみでよいかな等の項目が考えられる。

【0064】料理内容については、単品注文ができるか、オリジナルメニューが可能か、メニューの差し替えができるか、着席ビュッフェができるか、列席者ごとに料理が変えられるか、列席者が料理内容を選べるか、飲み放題にできるか、ワインの銘柄指定ができるか、料理の試食ができるか、シェフが料理の説明をしてくれるかな等の項目が考えられる。

【0065】衣装内容については、オーダーメイドドレスが作れるか、衣装室でドレスが購入できるか、衣装の持ち込みが無料か、ブーケの持ち込みが無料か、ヘアメイクのリハーサルができるか、ヘアメイクの持ち込みができるか、個室で美容・着付けができるか、館内の任意の場所で写真撮影可能か、庭で撮影可能か、写真を前撮りできるか、外部に写真依頼できるか、スナップ写真のネガを提供可能かな等の項目が考えられる。

【0066】演出内容については、金屏風の代わりにジョーゼットにできるか、カラーコーディネートできるか、好きな花でコーディネートできるか、生ケーキでケーキカットできるか、二人でケーキを作ることができるか、二人のオリジナルケーキが作れるか、カットしたケーキを列席者に配れるか、ケーキの持ち込み可能か、バンド演奏可能か、通信カラオケ提供可能か、キャンドルサービスの代わりに他のものが配れるか、ゲスト別に引き出物を用意可能かな等の項目が考えられる。

【0067】施設内容については、式場が駅から徒歩3分以内か、披露宴組数が1日2組以下か、300名以上の披露宴ができるか、少人数（例えば30名以下）の披露宴ができるか、レストランでの披露宴ができるか、ガーデンでの披露宴ができるか、お座敷で披露宴ができるか、披露宴会場に窓があって景色が望めるか、披露宴会場の天井が7m以上の高さか、庭があるか、宿泊施設があるか、二次会スペースがあるか、ベビーシッター施設があるか、最寄りの駅からの送迎サービスがあるか、料金の後日支払いが可能か、料金支払いでローン可能かな等の項目が考えられる。

【0068】式場会員IDデータベース404は、本イベント予約システムに会員登録された結婚式場提供者を管理するためのデータベースであり、式場管理番号をキーとして、式場名、そのふりがな、住所、電話番号、ファックス番号、URL、電子メールアドレス、式場、パスワード、担当者名、担当者ふりがな等のフィールドか

ら構成されている。

【0069】URLは、この結婚式場提供者が独自に開設しているウェブサイトがある場合には、当該イベント予約システムのウェブサイトからそのウェブサイトにハイパーリンクを設定できるように、業者のウェブサイトのURLを格納するものである。電子メールアドレスは、当該結婚式場提供者の電子メールアドレスである。

10 【0070】式場管理データベース405は、ユーザが各式場に対し個別に行う資料請求、訪問予約、式場仮予約または空き状況問い合わせを管理するもので、資料請求データベース4051、訪問予約データベース4052、式場仮予約データベース4053および空き情報データベース4054を備えている。

【0071】資料請求データベース4051は、利用端末から資料請求が送信された場合に、ユーザと式場とを結びつける役割を有し、個人会員番号をキーとして、資料請求先の式場管理番号および対応確認フラグを格納する。

20 【0072】訪問予約データベース4052は、利用端末から式場を訪問したい旨の訪問予約が送信された場合に訪問内容を登録するもので、個人会員番号をキーとして、式場管理番号、訪問予定日、問い合わせ日、予約確認フラグ等のフィールドを備えている。

【0073】式場仮予約データベース4053は、利用者が結婚式場を仮押さえしたい場合に行う仮予約を管理するもので、個人会員番号をキーとして、式場管理番号、仮予約日、問い合わせ日、予約確認フラグ等のフィールドを備えている。

30 【0074】空き情報データベース4054は、利用端末から空き状況問い合わせが送信された場合に参照される各結婚式場の空き状況を格納するものであり、式場管理番号をキーとして、カレンダー情報、空き情報フラグ、データ入力日等のフィールドから構成されている。カレンダー情報とは、日時を示すものであり、空き情報フラグは、その日時に対する空き情報を示すものである。例えば、その日時に空きがなければ「0」、空きがあれば「1」、条件により空きがあれば「2」というようにフラグ内容が予め設定される。

40 【0075】直前ダンドリサービス関連データベース群4020は、ユーザが結婚式場を予約したか否か、すなわち関連データベース402の関連フラグが有効になっている場合に参照され、挙式当日までの段取りを管理するものである。このデータベースは、問い合わせデータベース4021、来賓者席次データベース4022、式場専用資料データベース4023および見積もり費用データベース4024を備えている。

50 【0076】問い合わせデータベース4021は、式場を予約したユーザが行う問い合わせを管理するもので、個人会員番号をキーとして、式場管理番号、問い合わせ

日、問い合わせ番号、問い合わせ内容、返答日、返答番号、返答内容等のフィールドから構成されている。

【0077】来賓者席次データベース4022は、披露宴の席次を管理するデータベースで、個人会員番号をキーとして、テーブル番号、席次、来賓者氏名、所属、依頼内容等のフィールドから構成されている。

【0078】式場専用資料データベース4023は、式場を予約したユーザの依頼内容を登録するもので、式場会員データベース403と同様のフィールド構成を備えている。

【0079】見積もり費用データベース4024は、挙式の見積もり費用を管理するもので、個人会員番号をキーに、式場管理番号、見積もり項目群、見積もり単価、総額、記録日時等のフィールドを備えている。見積もり項目群は、例えば挙式内容に応じた式費用、披露宴会場費用、料理単価、新婦衣装代、新郎衣装代、引き出物持ち込み代、司会者料金、飲み物料金、控室料、席料、介添料、引き出物料金、ケーキ代、荘花代、写真代、コメント等のフィールドを備えている。見積もり単価は、各項目の単価を格納するフィールドである。総額は、見積もり項目の内容および見積もり単価から導かれる総予算である。

【0080】期限管理データベース406は、図示しないが、お節介メールサービスのための期限管理に使用するもので、個人会員番号をキーに、式場予約時期、来賓者決定時期、招待状発送時期、衣装決定時期、引き出物決定時期、設備決定時期、または結婚式後の礼状発送時期等を、時間情報として記したフィールドから構成されている。この時間情報は、挙式予定日から逆算して何日前にあたるかという相対的な表現であっても、挙式予定日から計算した絶対的な日付の表現であってもよい。なお、相対的に表現した場合、挙式後の期限は、負の表示とする。

【0081】式場評価データベース407は、後述する方法により、当該結婚式場を利用したユーザから与えられた項目ごとの点数等を格納するもので、式場管理番号をキーとして、チャペル、料理、接客態度、バージンロード感激度等の項目別に、その点数、記録日、個人会員番号等の各フィールドから構成されるレコードを格納する。また、これらレコードの他、式場管理番号ごとの平均点、全式場の項目ごとの平均点、全式場の総平均点等を格納する。

【0082】(処理手順) 次に、上記データベースを備えた本イベント予約システムの処理を、図3乃至図5のフローチャートを参照して説明する。以下の説明では、説明を理解し易くするため、一台の利用者端末がインターネットに接続するものとして説明するが、複数台の端末が同時に接続していても、各端末ごとの処理は、一台の端末が接続している場合と同様に考えることができる。

【0083】(利用者端末側処理) 図3および図4は、利用者端末側から参照するユーザウェブサイトについての処理フローチャである。

【0084】ステップS100(認証)： まずユーザは、利用者端末2xにおいてWWWブラウザを起動し、WWWブラウザのURL指定欄に、本イベント予約システムを提供するユーザウェブサイトのURLを入力する。このURLによりサーバ503とこの利用者端末2xとが接続される。ユーザウェブサイトから利用者端末2xのWWWブラウザにハイパーテキスト形式のファイルが読み込まれる。ここで、個人の認証を行うためのホームページが表示され、認証が行われる。つまり、個人会員データベース401に登録された個人IDおよびパスワードと利用者端末から送信された個人IDおよびパスワードとが比較される。

【0085】比較の結果、認証が許可された場合には、さらに相関データベース402の相関フラグが参照される。そして、相関フラグがセットされ、このユーザが式場予約を行っている場合は、ステップS202で説明する挙式直前ダンドリサービスのウェブページにリンクする。相関フラグがリセットされ、このユーザが式場予約をまだ行っていない場合は、図6に示す本イベント予約システムのウェブページが表示される。

【0086】ステップS101(検索選択)： 上記ウェブページには、同図に示すように、「基本条件検索」、「こだわり条件がまま検索」、「空き情報検索」等のアイコンが表示される。次いで、ユーザが「基本条件検索」アイコンをマウス等でダブルクリックしたり、キーボードからアイコンを選択して実行キーを押したりすると、基本条件検索が選択される。以下、これらのユーザによるアイコンを選ぶ操作を「選択する」と表現する。

【0087】ステップS102(基本条件検索)： 「基本条件選択」アイコンを選択すると、結婚式において一般的に考えられている基本条件に基づいた結婚式場の検索が行われる。

【0088】例えば、図7に示すように、挙式スタイル、式場エリア、料理の種類、収納可能人数および料金等の基本条件を表示させる。ユーザは、このウェブページを見ながら、希望する基本条件に合わせ、前4者については択一式のチェックボックスをマウス等でクリックしてチェックし、料金の欄に予算を数値で入力する。入力が終わったら、「検索開始」アイコンを選択する。「検索開始」アイコンを選択すると、チェックされた項目や入力された事項を示す選択情報がサーバ503に送信される。

【0089】なお、基本条件の他、登録されている結婚式場提供業者の一覧表を表示させ、その中から希望の結婚式場提供業者を選択させるように構成してもよい。

【0090】ステップS103(こだわり検索)： こ

だわり検索は、本発明に係る。この検索は、抽象的な、かつ、独特な選択枝に基づいて、自分たちの希望に最も添った式場を見つけないという、結婚式の内容にこだわりのあるユーザに適する選択方法である。

【0091】図6のウェブページより、ユーザが「こだわり条件わがまま検索」アイコンを選択すると、図8に示すように、上記式場会員データベースのこだわり検索フラグ群で説明した項目が一覧表示されたウェブページにリンクする。このウェブページは上述したように多数の項目からなるので、複数のウェブページに表示させるよう構成したり、スクロールにより総てを表示させるよう構成したりする。

【0092】また、同図に示すように、「どんな式がしたい」という要約文の欄に、ユーザが自分の希望を文章化して記載してもよい。

【0093】ユーザが、このウェブページから、任意の項目（複数可能）を選択したり、文章を記載したりした後、「検索開始」アイコンを選択する。「検索開始」アイコンを選択すると、チェックされた項目や入力された事項を示す選択情報がサーバ503に送信される。

【0094】ステップS104（空き情報検索）： 空き状況検索は、本発明に係る。この検索は、挙式予定日を優先し、その挙式予定日に予約可能な結婚式場を選択したり、結婚式場を優先し、その結婚式場で空いている日に挙式できるよう調整したりしたいユーザに適する。

【0095】図6のウェブページより、ユーザが「空き情報検索」アイコンを選択すると、「結婚式場選択」アイコンおよび「日付設定」アイコンが表示される。「結婚式場選択」アイコンを選択すると、結婚式場一覧が選択可能に表示されるウェブページにリンクする。この表示は、図10のリスト一覧に類似した表示である。このウェブページからユーザが希望する式場を選択すると、図9に示すようなウェブページにリンクする。

【0096】また、「日付設定」アイコンを選択すると、結婚式場一覧の代わりに同図のウェブページに直接リンクする。なお、同図のウェブページは、結婚式場の詳細表示（図11参照）において「空き状況」アイコンをクリックすることでも表示される。

【0097】このウェブページから所望の日時についてチェックし、「検索」アイコンを選択すると、日付情報、および「結婚式場選択」アイコンを押下した場合は式場選択情報がサーバ503に送信される。

【0098】ステップS105（リスト表示）： ステップS102～S104のいずれかの検索条件において条件が入力されると、サーバ503はデータベース群4を検索して、検索条件に該当する結婚式場を抽出する。そして抽出した結婚式場一覧を表示させるためのハイパーテキスト形式のファイルを生成し、リンク先のディレクトリに格納する。利用者端末では、WWWブラウザにより、このディレクトリにリンクして、図10も示すよ

うな結婚式場一覧のウェブページが表示される。

#### 【0099】基本条件検索の場合

「基本条件検索」アイコンが選択された場合、サーバ503は、利用者端末2xから送信された選択情報における選択内容や料金の値を参照し、式場会員データベース403を検索する。検索は、式場管理番号で規定されるレコードごとに、送信された条件と、予算、挙式スタイル区分、料理区分、最大収容人数および地図番号の各フィールドが比較される。挙式スタイル区分と料理区分については、チェックされている条件について、その項目のフィールドにフラグがセットされているか否かを判定する。予算については、送信された予算がデータベースに記録されている予算から一定の幅以内（例えば、±1割以内）に入っているか否かを判定する。人数については、チェックされた内容が、データベースに設定された最大収容人数以下か否かを判定する。

【0100】そしてサーバ503は、基本条件でユーザにより選択されたり入力されたりした項目総てがデータベースに格納された内容に合致している場合、そのレコードに係る式場管理番号を読み取る。そして、式場会員データベース403に格納されている写真情報に基づいて写真ファイルを読み取り、式場会員IDデータベース404に格納されたデータに基づいて、式場の名称、住所、電話番号等を抽出する。これらを繰り返して、最後に、基本条件に合致した式場一覧を表示するファイルを該当ディレクトリに生成する。この結果、利用者端末には、図10に示すような該当式場一覧が表示される。なお、該当したレコード件数を同図に示すように表示させることは好ましい。

【0101】なお、写真ファイルは、GIF形式やJPEG形式で保存された圧縮画像ファイルであって、写真を表示させたいウェブページのハイパーテキスト形式ファイルが格納されているディレクトリと同一ディレクトリに格納されている。

#### 【0102】わがまま検索の場合

「こだわり条件わがまま検索」アイコンが選択された場合、サーバ503は、利用者端末2xから送信された選択情報において、チェックされている項目と式場会員データベース403のこだわり検索フラグ群とを比較する。そして、チェックされた項目について、フラグがセットされているレコードの式場管理番号を読み取る。その際、選択情報に含まれている優先順位情報を読み取って、式場一覧に加えるか否かを判断する。例えば、優先順位が「普通」になっている項目については、係数1を付し、優先順位が「優先」になっている項目については、係数2（>係数1）を付する。そして、わがまま条件の各項目ごとに予め設定された点数と前記係数に基づいて、例えば以下の式に基づく総合評価点を算出する。

【0103】（項目1の点数）×優先順位の係数 + （項目2の点数）×優先順位の係数

そして、上記計算結果を百分率に換算して「わがまま指数」とする。このわがまま指数が所定値以上のレコードを抽出する。もちろん、優先順位の代わりに、数値による重み付け（例えば10段階）をユーザにさせて上記計算を行ってもよい。なお、ユーザの期待度を評価可能なものであれば、上記計算方法によらず、他の計算方法によってもよい。

【0104】また、「どんな式がしたい」要約文の欄に記載がある場合は、これの記載も合わせて判断する。まずサーバ503は、要約文の中から語句を抽出する。例えば図8の例であれば、「花」、「演奏」、「スライド上映」等の語句を抽出する。そしてこの語句に対応付けられるわがまま検索フラグ群の項目があった場合に、そのレコードを抽出する。語句は、単語であっても1以上の文節であってもよい。

【0105】このとき、上記チェックボックスでチェックした項目があった場合の配点と、要約文中に該当する語句があった場合の配点とを異ならせてもよい。例えば、チェックボックスによって選択された項目が合致した場合は5点、要約文から抽出した語句が合致した場合は1点というように配点する。要約文にはユーザの希望に無関係の語句が修飾語として使われる場合のあるので、要約文の配点を下げておけば不適当な結婚式場が謝って選択される可能性が少なくなるからである。

【0106】そして上記と同様にわがまま指数を計算し、適当な結婚式場を抽出し、式場一覧を表示するファイルを作成する。

#### 【0107】空き情報検索の場合

「空き情報検索」アイコンが選択された場合であって「日付設定」アイコンが選択された場合、サーバ503は、利用者端末2xから送信された日時情報に基づいて、空き情報データベース4054を検索する。すなわち、日時情報と、データベースのカレンダー情報および空き情報フラグとを比較し、日時情報で示される日時（例えば月）に空き情報フラグが空いていることを示しているレコードを抽出する。そして抽出されたレコードの結婚式場一覧を上記と同様に表示するためのファイルを作成する。このとき、空き情報フラグが条件付きで空きがあるのか、間違いなく空いているかの別を表示してもよい。

【0108】一方、「空き情報検索」アイコンが選択された場合であって「結婚式場選択」アイコンが選択された場合、サーバ503は、利用者端末2xから送信された式場の選択情報および日時情報に基づいて、空き情報データベース4054を検索する。すなわち、選択された式場の式場管理番号が付されたレコードからカレンダー情報と空き情報フラグを抽出し、カレンダー仕様の画像を表示させるハイパーテキスト形式のファイルを該当ディレクトリに生成する。

【0109】この結果、利用者端末2xには、例えば図

12に示すようなカレンダーが表示される。同図では、カレンダー上で、日付とともに、空き情報フラグを参照して、大安、赤口、仏滅、先負、先勝の別、および空きがあるのか、空きがないのか、条件により空きがあるのかを示す記号が表示される。

【0110】ステップS106（詳細表示）：図10に示す結婚式場一覧を表示するウェブページから詳細を見たい式場の欄でチェックボックスをチェックし、「詳細を見る」アイコンを選択すると、チェックされた式場の詳細情報を表示するウェブページにリンクする。

【0111】すなわち、サーバ503は、「詳細を見る」アイコンが選択されるとチェックされた欄の式場管理番号をキーに、式場会員データベースを参照する。そして該当するレコードの写真情報に基づいて、例えば式場内を360度見渡せる写真の写真ファイルを読み出し、写真画像を表示する。併せてその写真の説明文を表示する。また、地図番号に基づいて地図データベースから地図データを読み取って地図を表示する。さらに当該結婚式場についての詳細な文字情報を、このレコードを参照して表示する。

【0112】さらに口コミ情報欄に、「おすすめ指数」を計算して表示する。つまり、サーバ503は、式場管理番号をキーに式場評価データベース407を検索し、当該式場管理番号が付されたレコードから、項目別に点数を読み出す。ついで各項目ごとに付された複数のユーザの点数を平均する。このとき、公平さを期すため、10点以下のものと90点以上のものを除く等の処理をすることは好ましい。各項目に与えられた平均点をさらに平均して、総合点を算出する。また、総ての式場に付された総ての項目の平均点も算出する。

【0113】おすすめ指数は、例えば、総ての式場の平均点に対する、その式場について算出された平均点の比率を10点満点に換算したものである。もちろん、相対的な評価を表示可能なものであれば他の計算方法によってもよい。

【0114】上記のようにして計算されたおすすめ指数は、項目ごとに、図11に示すように表示される。

【0115】ステップS108（空き情報）：図11のウェブページを見て、この結婚式場がよいと思ったユーザは、同ウェブページより「空き状況」アイコンを選択する。サーバ503は、この選択に応じて、前述した図12の空き情報一覧を表示させるファイルを作成する。

【0116】ステップS109（資料請求）：図11のウェブページにおいて、ユーザが「資料請求フォーム」アイコンを選択すると、図13に示すような資料請求のためのフォームが記載されたウェブページに接続する。このウェブページにおいて、ユーザは、資料請求のための氏名、ふりがな、郵便番号、住所、挙式予定月等の項目を入力し、「資料請求」アイコンを選択する。こ

のアイコンを選択すると、ユーザにより入力された上記諸情報を含む要求情報がサーバ503に転送される。サーバ503は、この要求情報を資料請求データベース4051に格納する。そしてこの要求情報に基づいて、後述する結婚式場提供者のためのハイパーテキスト形式のファイルを生成する。このファイルにより提供されるウェブページ(図26参照)を当該業者が参照することで、ユーザに資料が送付される。

【0117】同様に、図11には図示しないが、「訪問予約」アイコン、または「式場仮予約」アイコンを選択することもできる。「訪問予約」アイコンを選択すると、サーバ503は、ユーザがその結婚式場を訪問したい旨の要求を示す訪問予約ができる(ステップS110)。訪問予約を行う旨の要求情報が送信されると、サーバ503は、この要求情報の内容を、訪問予約データベース4052に格納する。

【0118】「式場仮予約」アイコンを選択すると、ユーザがその結婚式場を仮予約したい旨の要求を示す式場仮予約ができる(ステップS111)。仮予約を行う旨の要求情報が送信されると、サーバ503は、この要求情報の内容を、式場仮予約データベース4053に格納する。

【0119】ステップS112(挙式直前ダンドリ(段取り)サービス申し込み): 訪問予約を行ったユーザが実際に式場を訪問して、その式場が気に入ったが他の式場も押さえておきたい場合には、式場側と書面で仮予約を行う。仮予約を行った場合には、結婚式場提供者が本イベント予約システムに仮予約がされた旨を登録する。仮予約を行ったユーザに対し、サーバ503は、挙式直前ダンドリサービスの申し込みを促すウェブページを提供する。

【0120】上記ステップS111で、ユーザが直接ウェブページから仮予約を行った場合にも、サーバ503は、挙式直前ダンドリサービスの申し込みを促すウェブページを提供する。ユーザは、このウェブページから挙式直前ダンドリサービスの申し込みを行う。なお、仮予約をすると、挙式直前ダンドリサービスを申し込んだものとして取り扱ってもよい。

【0121】挙式直前ダンドリサービスが申し込まれると、サーバ503は、関連データベース402の関連フラグをセットする。これにより、挙式直前ダンドリサービス関連データベース4020へのアクセスが可能となる。挙式直前ダンドリサービスを申し込んだユーザには、このサービスのためのホームページにアクセスするためのURLが知らされる。

【0122】ステップS201(図4: 挙式直前ダンドリサービス): 挙式直前ダンドリサービスが申し込まれている場合、サーバ503は、挙式直前ダンドリサービスを申し込んだ個人会員用のウェブページを表示させるファイルを生成し、該当するディレクトリに格納す

る。なお、ユーザが仮予約をせず既に式場を決定してしまっている場合には、複数の式場と個人とがやりとりできる段階(PHASE1)を飛び越し、式場と個人とが一対一でやりとりする段階(PHASE2)に直接移行するよう、リンクを張る(ハイパーリンク先のアドレスを設定するの意味)。

【0123】挙式直前ダンドリサービスのホームページは、例えば図14に示すような表示に設定される。このホームページには、挙式までの残り日数の表示欄a、ユーザの名前欄b、挙式予定日から逆算してやっておかねばならない項目の告知欄c、ユーザの属性情報欄d、個人情報の変更欄e、および結婚式場の検索等のメニュー欄fを含んでいる。

【0124】挙式までの残り日数欄aおよび挙式予定日から逆算してやっておかねばならない項目の告知欄cについては、お節介ウェブページ(ステップS130~S132)と同様の機能により表示されるものであり、後述することとする。

【0125】ユーザの名前欄b、ユーザの属性情報欄dについては、サーバ503が個人会員データベース401を参照して表示されるものである。

【0126】個人情報の変更欄eには、「彼と彼女の登録」アイコンや「年表グラフ」アイコンが表示される。前者は、ユーザの登録内容を変更するものであり、後者はユーザの年表を作成するものである。

【0127】メニュー欄fには、「式場案内」アイコン、「結納」アイコン、「結婚予算チェック」アイコン、「ドレスの選択」アイコン、「ダンドリチェック」アイコン、および「何でも相談」アイコン等が表示される。「式場案内」アイコンを選択すると、式場専用資料データベース4023が参照され、ユーザは、図11に準じた式場の詳細情報を表示するウェブページにリンクすることができる。「結納」アイコンを選択すると、結納に関する情報を表示するウェブページにリンクすることができる。「ドレスの選択」アイコンを選択すると、式場専用データベース4023が参照され、ユーザは、仮予約した結婚式場で提供可能な衣装の中から、希望する衣装を閲覧したり、選択したりすることができる。

「ダンドリチェック」アイコンを選択すると、挙式予定日までに行わなければならない事項のリストが表示される。なお、段取りの進捗状況に関する情報を格納するデータベースを設ければ、実際に準備が完了した項目とまだ準備が完了していない項目とを表示させ、ユーザの注意を喚起させることができる。

【0128】ステップS202(見積もり依頼): 挙式直前ダンドリサービスホームページ(図14)から、「結婚予算チェック」アイコンを選択すると、式場への見積もり依頼が行える。

【0129】まず、図15(a)に示すような式場選択のためのウェブページにリンクする。このウェブページ

に表示される式場は、式場仮予約データベース4053を参照することにより抽出された、仮予約をユーザが行った式場である。

【0130】上記ウェブページから見積もりを要求したい式場のチェックボックスをチェックして、「選択」アイコンを選択すると、同図(b)に示すウェブページにリンクする。このウェブページには、日程、挙式スタイル、披露宴人数、料理内容、新婦衣装、新郎衣装、引き出物、司会者等の項目が表示される。これらの項目は、見積もり費用データベース4024における見積もり項目群に対応している。

【0131】ユーザが、各項目において必要な事項のチェックボックスをチェックし、あるいは披露宴人数を入力してから「決定」アイコンを選択すると、この内容に対応した要求情報が送信される。サーバ503は、この要求情報を参照して、見積もり費用データベース4024の該当するフィールドのフラグをセットしたり、数値を複写したりする。要求情報をデータベースに格納すると、サーバ503は、当該要求情報で指定されている式場に関する電子メールアドレスを、式場会員IDデータベース404から読み取って、この式場に見積もり依頼が来ている旨の電子メールを送信する。電子メールを受け取った結婚式場提供者は、ステップS321、S324～S326で説明する手順で、見積もりへの返答を行う。

【0132】以前に見積もり依頼した結婚式場側のイベント提供者端末から見積もりの返答情報が送信された場合、サーバ503は、当該返答に係るユーザの電子メールアドレスを個人会員データベース401から取得し、当該ユーザに見積もりが届いた旨の文章を作成して電子メールにて送信する。同時に、サーバ503は、図14の画面に図16(a)に示すような表示を追加させるファイルを生成する。このため、電子メールが利用者端末2xで受信され、ユーザがこれを確認した後に、再度挙式直前ダンドリサービスのホームページにリンクすると、図14の画面に図16(a)に示す表示が追加された画面が表示される。

【0133】ユーザは、この中から見積もり内容を確認したい式場のチェックボックスをチェックし、「見る」アイコンを選択する。「見る」アイコンが選択されると、サーバ503は、見積もり費用データベース4024を参照し、式場側で設定された単価に基づいて、図16(b)に示すような明細(a)を表示するためのファイルを作成する。このとき、サーバ503は、各項目を総計した見積もり総額(b)も併せて表示させるようにする。さらに、おすすめプランや、こだわり条件フラグがセットされている項目がある場合には、そのフラグ内容に応じた宣伝メッセージ(c)も表示するようにする。

【0134】ステップS202(問い合わせ依頼)：

さて、ユーザが図15(b)の画面においてフリーコメントの欄に質問事項を文章にして記載した場合、サーバ503は、問い合わせデータベース4021にこの内容を格納する。このとき、問い合わせたユーザを特定する個人会員番号、問い合わせ番号等も併せて格納される。

【0135】ユーザが問い合わせ内容を入力後、「決定」アイコンを選択すると、この内容に対応した要求情報が送信される。サーバ503は、この要求情報を問い合わせデータベース4021の該当するフィールドに格納する。要求情報をデータベースに格納すると、サーバ503は、当該要求情報で指定されている式場に関する電子メールアドレスを、式場会員IDデータベース404から読み取って、この式場にお問い合わせが来ている旨の電子メールを送信する。電子メールを受け取った結婚式場提供者は、ステップS322、S324～S326で説明する手順で、問い合わせへの返答を行う。

【0136】ステップS203(式場決定入力)：式場を決定すべき期日が迫ってくると、挙式直前ダンドリサービスホームページには、図17(a)に示すような表示が追加される。このホームページより「個人情報変更」アイコンを選択すると、同図(b)に示すような、ウェブページにリンクする。さらにこのウェブページより、「式場決定入力」アイコンを選択すると、同図(c)に示すようなウェブページにリンクする。このウェブページを見ながら、ユーザは、最終的に決定する式場の名前、決定した挙式予定日、披露宴人数、挙式スタイル、引き出物、二次会に関する各項目について、文字入力したり、チェックボックスをチェックしたりする。そして、図示しない「決定」アイコンを選択すると、サーバ503により、相関データベース402の決定された式場に関するレコードの相関フラグが、決定した旨のステータスに書き換えられる。

【0137】ステップS204(PHASE2)：式場が決定されると、式場と個人とが一对一でやりとりする段階PHASE2に入る。PHASE2以後の挙式直前ダンドリサービスにおけるホームページは、PHASE1のホームページと異なるものである。PHASE2のホームページからは、席次表作成(S205)、見積もり変更(S206)、問い合わせ(S207)、各種資料検索(S208)等のメニューが提供される。

【0138】見積もり変更、問い合わせ、各種資料検索に関しては、上述した、見積もり要求、問い合わせ要求および資料請求に準じて行われる。

【0139】席次表作成は、披露宴に招待する来賓者の席次を表形式で作成するものである。席次表作成を行うウェブページは、予め式場ごとの席次レイアウトパターンを選択可能に構成されている。ユーザは、まずこの席次レイアウトパターンを選択する。席次レイアウトパターンを選択すると、席次記入フォームを表示するウェブページにリンクする。ユーザはこのウェブページの指示

にしたがって、来賓者の氏名、所属、スピーチの有無等の依頼内容等を記入していく。そしてユーザが「決定」アイコンを選択すると、サーバ503は、これら選択内容を来賓者席次表データベース4022に格納する。

【0140】式場側では、ステップS323で説明するような手順で、ユーザの設定した席次を確認することができる。式場側はこの内容にしたがって、挙式当日の席を設定する。

【0141】なお、ユーザが席次の最終確定をウェブページより指定すると、それ以降の席次の変更ができなくなる。

【0142】ステップS120（お節介メール登録）：

お節介メール機能を利用したいユーザは、図18に示すようなお節介メール利用のための登録用ウェブページから、同図に示すような項目を入力してお節介メールの登録を行う。サーバ503は、この登録要求が利用者端末から送信されたら、お節介メールサービスを行う旨のフラグを個人会員データベース401にセットする。以後、この利用者端末に対し、以下に説明するお節介メールを送信する。

【0143】ステップS121（お節介メール）： 図19に、お節介メールの動作を説明する詳細なフローチャートを示す。

【0144】サーバ503は、定期的に、あるいは任意のタイミングで、お節介メールを送信するためのデータベースの検索を行う。まず、個人会員データベース401を参照して最初のレコードを検索する（S401）。そしてお節介メールを行う旨のフラグがセットされているか否かを判定し（S402）、セットされていなければ（NO）、次の会員に関するレコードを検索する（S403）。

【0145】さて、検索したレコードに関する個人会員がお節介メールを行う旨の予約がされていたら（S402；YES）、同データベースより結婚日時、すなわち挙式予定日を読み取り（S404）、さらにコンピュータのシステムタイマーにアクセスして、現在の日時を取得する（S405）。そして、期限管理データベース406に予め格納されている時間情報が、挙式予定日から逆算して何日前にあたるかという相対的な表現で格納されている場合は、現在の日時から結婚予定日を減算して、結婚予定日までの残り日数を算出する（S406）。また、期限管理データベース406に格納されている時間情報が、挙式予定日から計算した絶対的な日付の表現である場合には、データベース中に設定された項目の各々について処理すべき期日を計算する。次いで期限管理データベース406からこの時間情報、すなわち処理すべき事項の処理期日を列記した挙式のタイムテーブルを取得する（S408）。

【0146】ここで、挙式直前ダンドリサービス関連データベース群4020に、段取りの進捗状況を記録する

ためのデータベースを設けてもよい。この場合には、その進捗状況を読み取る（S409）。

【0147】そして、挙式予定日と現在日時の比較の結果、現在の日時が処理すべき事項の処理期日を過ぎている場合には、進捗状況を参照して、その処理すべき事項が処理されているか否かを判定する（S410）。処理すべき事項が処理されている場合には（S410；YES）、他の処理すべき事項があるか否かを判定する（S413）。他の処理すべき事項がある場合には（S413；YES）、再びその事項についての進捗状況を取得する（S409）。処理すべき事項がなければ（S413；NO）、処理を終了する。

【0148】一方、処理すべき事項が処理されていない場合（S410；NO）、この事項をユーザに処理させる必要がある。そこで、サーバ503は、この場合にウェブページ上で処理されていない事項をユーザに知らせるためのメッセージを含めたハイパーテキスト形式のファイルを生成する（S411）。

【0149】さらに、サーバ503は、処理されていない事項をユーザに知らせるためのメッセージを生成し、これを電子メールでユーザの利用者端末2xに向けて送信する（S412）。電子メールアドレスは、個人会員データベース401から取得する。

【0150】上記サーバの処理により、処理すべき事項の処理期日が来ると、自動的に電子メールが利用者端末の元へ送信されることになる。例えば、図20に示すように、期限管理データベース406に式場予約期間、来賓者決定期間、招待状発送期間、衣装決定期間、引き出物決定期間、設備決定期間、礼状発送期間が設定されているものとする。この設定において、式場予約期間がやって来ると、サーバ503が上記処理を行い、例えば「そろそろ式場を決定しましょう」というメッセージを含めたウェブページ用ファイルを生成し（図14参照）、同様のメッセージを含めた電子メール1を送信する。同様に、他の期間についても処理すべき時期に達した場合には、対応する電子メールを送信する（電子メール2～6）。なお、既に期間を過ぎている事項であっても処理されていない場合は、処理されていない事項総てについてのメッセージを生成する。例えば、来賓者決定期間に達した時に、既に決定していなければならない式場を予約していなかったとすれば、来賓者決定を促すメッセージとともに式場予約を促すメッセージを生成する。

【0151】なお、同図に示すように挙式予定日を過ぎても、礼状発送等の処理すべき事項がある場合には、挙式後であってもメッセージを生成し、電子メールで送信する。

【0152】図21に、電子メールにて送信されるメッセージ例を示す。同図に示すように、結婚関係情報欄には、ユーザ名と処理すべき事項が列記されている。こ



で、処理すべき事項に問い合わせ番号を付してメッセージを生成することは好ましい。処理すべき事項に疑問のあるユーザや知識が不足しているユーザが、その内容を容易に問い合わせることができるからである。問い合わせたいユーザは、利用者端末より、例えば図22に示すように問い合わせ番号を入力して、電子メールを管理者システム5宛に送信する。サーバ503は、この電子メールを受け取ると、問い合わせ番号に対応させて、例えば図23に示すようなメッセージを生成して、再度送り主であるユーザの利用者端末に向けて返信する。ユーザはこれを見て、挙式に関する必要情報を容易に入手することができる。

【0153】また、図21に示す電子メールにおいて、広告欄を設け、処理すべき事項に関連した業者の問い合わせ番号等を表示することは好ましい。ユーザにとって処理を行うための連絡先になり、業者にとっては宣伝になるからである。

【0154】さらに、バックナンバー欄を設け、関連事項についての情報を供給するための問い合わせ番号等を付加することは好ましい。ユーザは、間接的に関連する情報を広く取得することができるからである。この問い合わせおよび返答は上記と同様に行われる。

【0155】なお、上記S411で生成されたハイパーテキスト形式のウェブページによれば、例えば図24に示すようなタイミングで、処理すべき事項を知ることになる。すなわち、このウェブページにユーザがアクセスするたびに、そのとき処理すべき事項が表示されることになる。

【0156】ステップS130（お節介ウェブ登録）：

上記お節介メールによらず、ウェブページ上のみで、処理すべき事項をユーザに知らせることもできる。このサービスのために、ステップS120と同様に、ユーザは必要情報を登録する。そして個人会員の認証後（S131）、ウェブサイトへリンクするたびに、処理すべき事項が表示されたウェブページ（図14および図24参照）が表示される（S132）。処理の詳細は、図19のフローチャートにおいて、電子メール送信（S412）を取り除いたものとなる。

【0157】なお、挙式直前ダンドリサービスを申し込んだユーザの場合は、ステップS120やS130のような登録なしで、挙式直前ダンドリサービスのホームページ上で、お節介ウェブとしての処理すべき事項の表示（例えば図14のa欄）が提供される。

【0158】（結婚式場提供者側処理）図5に、結婚式場提供者側側の処理を説明するフローチャートを示す。このフローチャートは、図3および図4で示したような、ユーザ側からの処理要求に対応して行われる処理を説明するものである。

【0159】ステップS300：結婚式場提供者に対して、所定の方法により、当該イベント予約システ

ムへの登録が行われる。登録された結婚式場提供者には、式場IDとパスワードが供給され、式場会員IDデータベース404に格納される。

【0160】結婚式場提供者がイベント提供者端末3yから式場ウェブサイトへ接続すると、ホームページが表示される。

【0161】ステップS301：イベント提供者端末3yから上記式場IDとパスワードが送信されると、サーバ503は、式場会員IDデータベース404に格納された式場IDおよびパスワードと照合され、認証が行われる。

【0162】ステップS302：認証が済むと、図25(a)に示すような式場専用ウェブページへリンクする。サーバ503は、このウェブページ用ファイルを生成する際に、式場管理データベース405を検索して、資料請求の未処理件数、見積もり依頼の未処理件数、空き状況最終変更日等を取得し、それらの情報をこのウェブページに含ませる。式場専用ウェブページには、「資料請求確認」アイコン、「見積もり確認」アイコンおよび「空き状況登録」アイコンが表示される。

【0163】ステップS303（各種予約請求確認）：  
図25(a)のウェブページより結婚式場提供者が「資料請求確認」アイコンを選択すると（S304）、サーバ503は、資料請求データベース4051を検索して、当該式場の式場管理番号が記録されたレコードを抽出する。この結果、同図(b)に示すような資料請求者一覧を表示するウェブページへリンクする（S307）。このとき、資料請求データベース4051が参照される。

【0164】また、「訪問予約」アイコンを選択すると（S305）、サーバ503は、訪問予約データベース4052を検索して、当該式場の式場管理番号が記録されたレコードを抽出する。

【0165】なお、資料請求と訪問予約を一括して、図26に示すようなウェブページに表示させてもよい。このウェブページでは、請求日時、請求者の氏名、ふりがな、性別、年齢、電話番号、住所、職業、業種、挙式予定日、電子メールアドレス等が表示される。資料請求なのか、訪問予約なのかの別は、備考欄に表示される。訪問予約の場合は、予約希望日も表示される。

【0166】図25には図示しないが、「式場仮予約」アイコンを選択した場合（S306）にも、図27(b)に示すようなウェブページへリンクする。このときは、式場仮予約データベース4053が検索される。

【0167】ステップS308：一覧確認のウェブページ（図25(b)）から「詳細表示」のアイコンを選択すると、同図(c)に示すような詳細表示が行われる。結婚式場提供者は、このウェブページにおいて、要求を受け付ける場合には、受付済みのチェックボック

スをチェックする。例えば、「資料請求」の場合は、ユーザに対し、ファックスにより、あるいは郵送により資料を送付したら、資料送付済みを示すチェックボックスをチェックする。「訪問予約」の場合は、訪問を受け付けられる場合に、受付済みのチェックボックスをチェックする。

【0168】また、「式場仮予約」の場合は、詳細表示のウェブページ(図27(c))において、仮予約可能な場合は「できます」というチェックボックスを、仮予約不可能な場合は「できません」というチェックボックスをチェックする。何らかのコメントが必要な場合は、それらを入力することもできる。

【0169】返信内容を総て入力したら、「返信」アイコンを選択する(S309)。これら返信内容が送信されると、サーバ503は対応する返信内容のメッセージを生成し、対応する利用者端末2xに電子メールを送信する。

【0170】サーバ503は、返答がされた場合には、その内容に応じ、資料請求データベース4051、訪問予約データベース4052、式場仮予約データベース4053の予約確認フラグをセットする。

【0171】ステップS310(空き状況表示): 式場専用ウェブページ(図28(a))より「空き状況登録」アイコンを選択すると、同図(b)に示すようなウェブページにリンクする。入力したい月のチェックボックスをチェックして「選択」アイコンを選択すると、同図(c)に示すようなウェブページにリンクする。

【0172】このウェブページの表示にあたって、サーバ503は、空き情報データベース4054を参照し、既に入力してある空き情報フラグがある場合は、そのフラグに対応した数値をカレンダーの該当する日付の欄に表示する(S312)。

【0173】また、空き状況に変更がある場合は、このカレンダー上で、変更のある日付欄の数値を書き換えることにより、空き状況の変更が行える(S311)。空き状況の新規入力や変更をしてから「登録/変更」アイコンを選択すると、サーバ503はその変更内容に基づいて空き情報データベース4054の内容を更新する。

【0174】ステップS320(挙式直前ダンドリサービス): 挙式直前ダンドリサービスに対応するために、図29(a)に示すような式場専用ウェブページから「見積もり依頼確認」アイコンを選択すると(S321)、サーバ503は、問い合わせデータベース4021を検索し、見積もり請求が要求されているユーザの一覧を表示するためのウェブページ用ファイルを生成する(S324)。この結果、同図(b)に示すようなユーザ一覧が表示される。このとき、見積もりが終了したユーザと終了していないユーザの別に分けて表示される。

【0175】ステップS325(詳細表示): さらに個別のユーザを選択すれば、同図(c)に示すようなユ

ーザごとの見積もり内容の詳細を表示することができる。

【0176】ステップS326(返信): このウェブページにおいて、結婚式場提供業者が項目ごとに価格を入力していく。さらにコメントが必要な場合は、コメント記入欄にコメントを入力する。一通り入力が終了し「返信」アイコン(図示せず)を選択すると、サーバ503は、これら見積もり内容、見積もり費用データベース4024に、記録日時とともに格納する。そして当該結婚式場提供業者からの見積もりが届いている旨のメッセージを生成し、対応する利用者端末2xに電子メールで送信したり、ユーザ用のウェブページに表示させたりする。

【0177】ステップS322(問い合わせ): ユーザからの問い合わせ内容についても上記と同様に対応できる。個々のユーザからの問い合わせを詳細表示させ、それに対応するメッセージを結婚式場提供業者が入力し、電子メールで送信したり、ユーザ用のウェブページに表示させたりする。なお、問い合わせが、問い合わせ番号でなされている場合には、サーバ503が自動的にメッセージを生成し、返信するように構成してもよい。

【0178】ステップS323(席次確認): ユーザがステップS205で作成した来賓者席次表は、イベント提供者端末3y側でも表示させることができる。ユーザが作成した席次表に問題がある場合には、席次表を表示させるウェブページからコメントを上記と同様にして送信できるように構成してもよい。

【0179】(本実施形態の利点) 上記したように、本実施形態のイベント予約システムによれば以下の利点がある。

【0180】(1) 上記実施形態によれば、挙式予定日に向けて必要となる段取りを、ウェブページあるいは電子メールで知らせるように構成したので、ユーザが準備を遅れることなく確実に進めることができる。その際、関連業者の問い合わせ番号や、関連情報の問い合わせ番号を併記したので、ユーザが容易に処理事項を進めたり、知識を深めたりできる。

【0181】(2) 上記実施形態によれば、ユーザの抽象的な要望事項をわがまま検索の項目として格納したデータベースを用意したので、ユーザの多様な趣味に合致した結婚式場提供業者を、多くの業者の中から確実に、かつ、簡単に見つけることができる。

【0182】(3) 上記実施形態によれば、実際に式を経験したユーザが結婚式場提供業者を評価した値をおすすめ指数という形で式場の詳細表示に含ませるよう構成したので、新たなユーザが式場を選ぶ際の有効な指針を提供できる。また、結婚式場提供業者側もサービスの向上を図るよう誘導することができる。

【0183】(4) 上記実施形態によれば、ユーザが挙式予定日に予約可能な結婚式場提供業者を抽出可能に

構成したので、挙式予定日の調整や業者の選択を、確実に、かつ、容易に行なうことができる。

【0184】(5) 上記実施形態によれば、ユーザ側から結婚式場提供業者に対して、問い合わせ、資料請求、訪問予約、式場仮予約等の各種要求が行えるよう構成したので、ユーザはいずれの結婚式場提供業者に対しても、統一した手順で、容易に、上記要求や予約が行える。また、結婚式場提供業者側も、複数のユーザからの要求を容易に把握できるよう構成したので、業者の負担を軽減することができる。

【0185】(6) 上記実施形態によれば、ユーザが結婚式を行う際に、自らが要求した結婚式について必要とされる予算を業者側が提示可能に構成したので、ユーザおよび結婚式場提供業者が、確実に、かつ、容易に予算を把握することができ、効率的である。

【0186】(7) 上記実施形態によれば、ユーザが来賓者席次を容易に設計可能に構成したので、効率的に披露宴の席次表を作成することができる。

【0187】(8) インターネット等のネットワークは24時間作動しているので、ユーザは時間を気にすることなく、結婚式の予約が行える。

【0188】(その他の変形例) なお、上記実施形態は種々に変形して提供することが可能である。例えば、上記実施形態で示した表示画面は表示例に過ぎず、そのデザインやアイコンの名称、その配置、各画面の互いにリンクする関係は、種々に変更することが可能である。

【0189】データベースは、上記実施形態では、個人会員データベース、相関データベース、式場会員データベース、式場会員IDデータベース、直前ダンドリサービス関連データベース、式場管理データベース、期限管理データベース、式場評価データベースで構成したが、このように分けず、異なるデータベース構造としてもよい。また一つのデータベースにおける異なったテーブルの集合体として構成してもよい。

【0190】また、上記実施形態では、結婚式場予約のために本発明のイベント予約システムを適用したが、大きなイベントの予約システムであれば、他の目的に本発明を適用することが可能である。例えば、民間が主催するパーティーの予約システム、コンサートの予約システム、あるいは出産が決まった夫婦のための子育て管理システム等、施設の予約や期限管理が必要なイベントに本発明を適用することができる。

【0191】

【発明の効果】本発明によれば、イベント実施日時が定まった利用者に対して、段取りが必要な事項を適時に提供可能な構成を備えたので、利用者がイベント準備を遅れることなく確実に進めることのできるイベント予約システムを提供することができる。

【0192】本発明によれば、利用者の抽象的な要望事項に基づいてイベント提供者を抽出可能な構成を備えた

ので、利用者の多様な趣味に合致したイベント提供者を、多くのイベント提供者の中から確実に、かつ、簡単に見つけることのできるイベント予約システムを提供することができる。

【0193】本発明によれば、実際にイベントを経験した利用者によるイベント提供者の評価を参照可能な構成を備えたので、利用者側から見た評価に基づいて、新たな利用者が適切なイベント提供者を選択でき、イベント提供者側もサービスの向上を図ることのできるイベント予約システムを提供することができる。

【0194】本発明によれば、利用者がイベントを実施したい日時にイベントを提供可能なイベント提供者を抽出可能な構成を備えたので、イベント実施日時の調整やイベント提供者の選択を、確実に、かつ、容易に行えるイベント予約システムを提供することができる。

【0195】本発明によれば、利用者側からイベント提供者に対して各種要求が行える構成を備えたので、利用者がいずれのイベント提供者に対しても統一した手順で、容易に資料請求や各種予約が行え、イベント提供者も複数の利用者からの要求を容易に把握できるイベント予約システムを提供することができる。

【0196】本発明によれば、利用者がイベントを開催する際に、自らが要求したイベントの内容について必要とされる予算を提示可能な構成を備えたので、利用者およびイベント提供者が、確実に、かつ、容易に予算を把握できるイベント予約システムを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のイベント予約システムの構成図である。

【図2】本発明のイベント予約システムのデータベース構造を説明する図である。

【図3】本イベント予約システムのユーザー側処理を説明するフローチャートである。

【図4】本イベント予約システムの直前ダンドリ処理を説明するフローチャートである。

【図5】本イベント予約システムの式場側処理を説明するフローチャートである。

【図6】ユーザウェブサイトのホームページの表示例である。

【図7】基本条件検索のウェブページの表示例である。  
【図8】こだわり条件わがまま検索のウェブページの表示例である。

【図9】空き状況問い合わせのウェブページの表示例である。

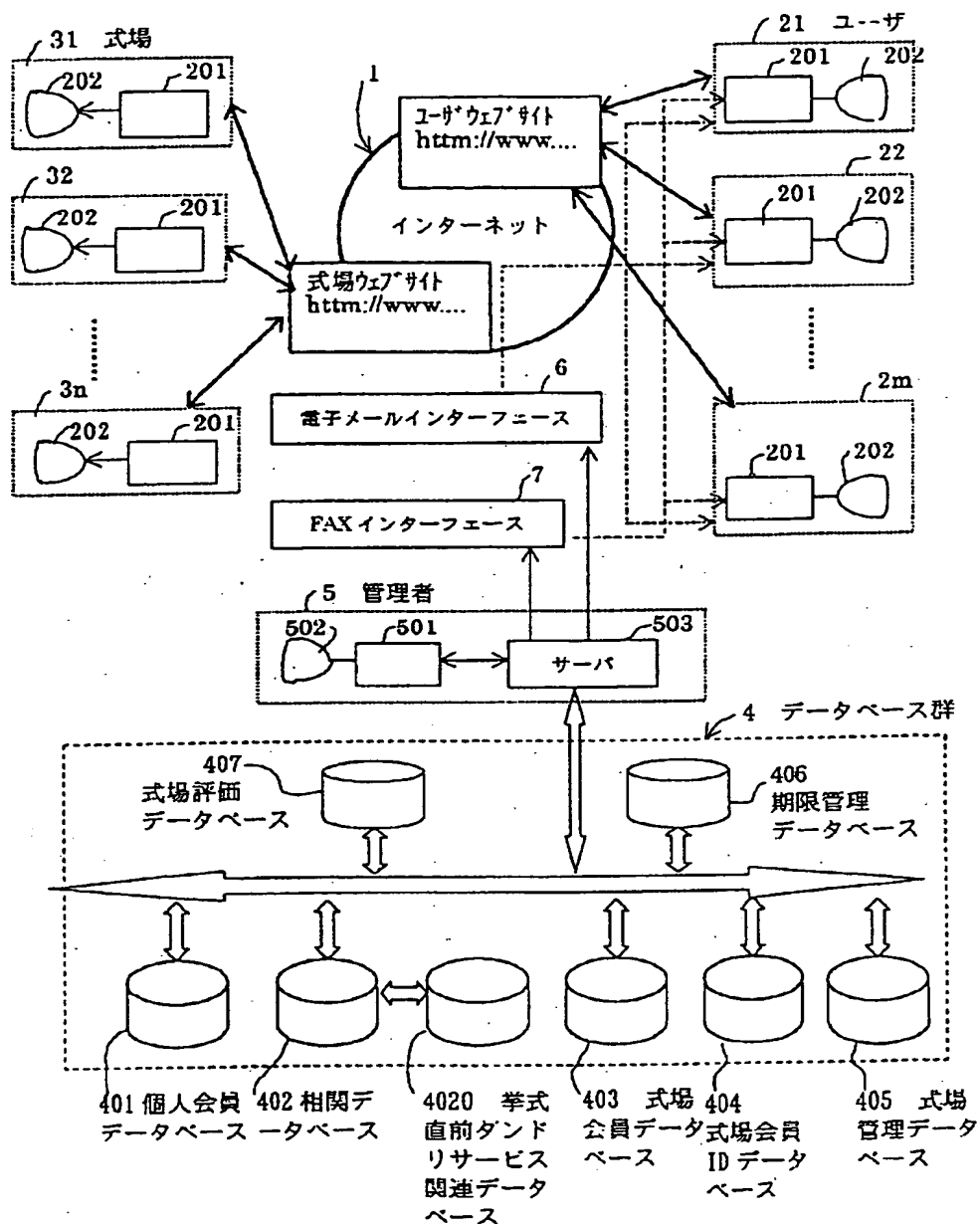
【図10】該当業者一覧のウェブページの表示例である。

【図11】詳細情報のウェブページの表示例である。

【図12】空き状況問い合わせ結果のウェブページの表示例である。



【図1】



【図9】

○×開空き状況

希望の月をチェックして検索をクリックしてください。

1997年 ○8月 ○9月 ○10月 ○11月 ○12月  
1998年 ○1月 ○2月 ○3月 ○4月

検索

【図6】

ホテル・式場スーパーガイド

●基本条件検索  
●こだわり条件  
わがまま検索  
...

【図7】

挙式スタイル	式場エリア
<input type="checkbox"/> 教会式	<input type="checkbox"/> 東京23区
<input type="checkbox"/> 神前式	<input type="checkbox"/> 東京都下
<input type="checkbox"/> 人前式	<input type="checkbox"/> 埼玉方面
<input type="checkbox"/> 仏前式	<input type="checkbox"/> 千葉方面

料理の種類	収容可能人数
<input type="checkbox"/> 和食	<input type="checkbox"/> 30人以内
<input type="checkbox"/> 洋食	<input type="checkbox"/> 50人以内
<input type="checkbox"/> 中華	<input checked="" type="checkbox"/> 100人以上
<input type="checkbox"/> 折衷	<input type="checkbox"/> 100人以上

料金

検索開始

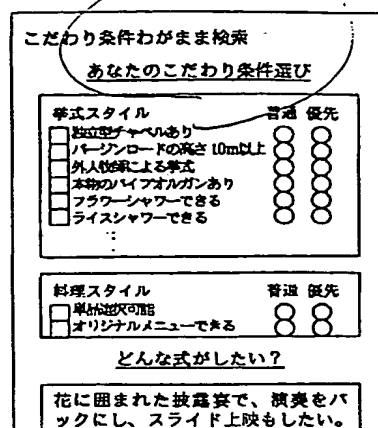
【図10】

該当するのは15件です

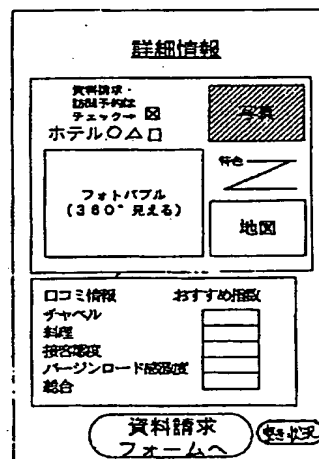
詳細はチェック→ ホテル○△□ 住所: 〇〇〇〇〇〇〇〇 電話: 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	写真
詳細はチェック→ ××××ホテル 住所: 〇〇〇〇〇〇〇〇 電話: 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	写真
詳細はチェック→ 〇〇〇〇〇〇会館 住所: 〇〇〇〇〇〇〇〇 電話: 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	写真

詳細を見る

【图8】



【図 1 1】



【圖 13】

**資料請求フォーム**

お名前

ふりがな

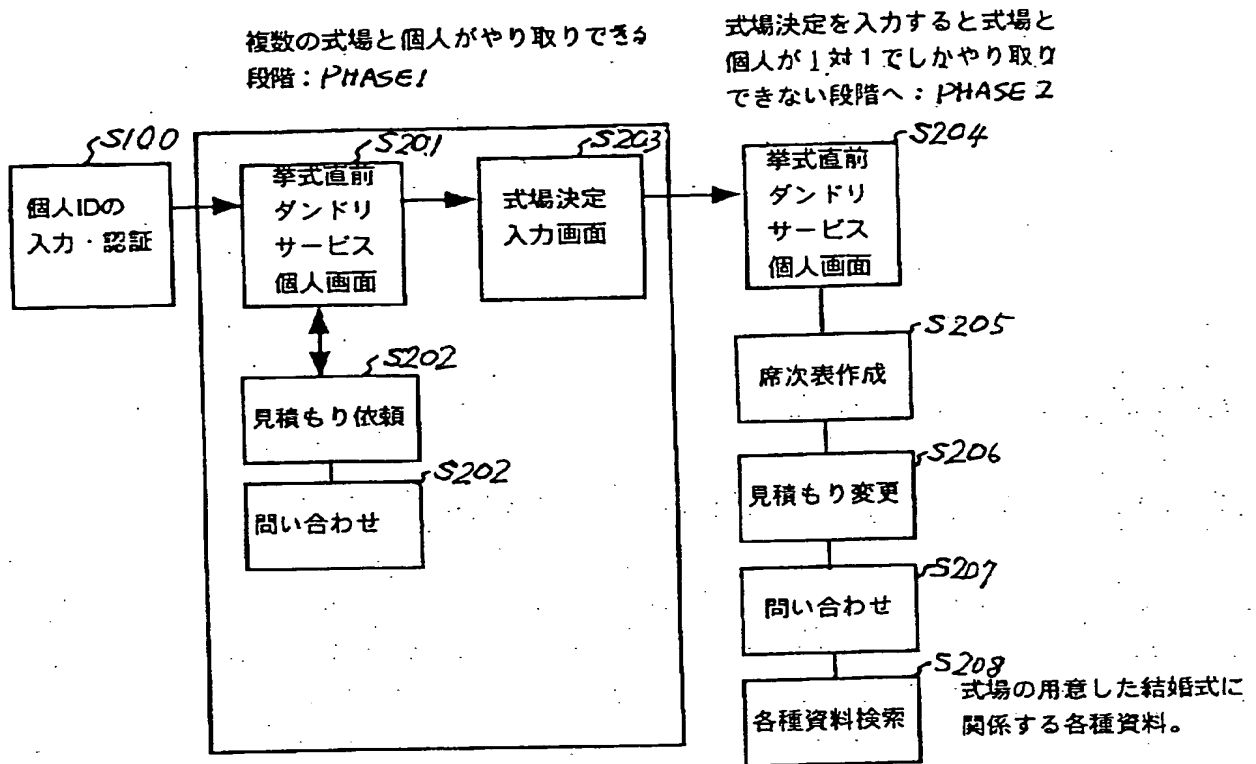
郵便番号

ご住所

学式予定  年  月  日

資料請求

【図4】



【図14】

**結婚手帳**      結婚まで180日      a 挙式までの残りの日数

b ユーザーの名前      山田太郎さんの手帳      What's New!?

**CONTENTS**

個人情報の変更

- 彼と彼女の登録
- 年表グラフ

know how

- 式場案内
- 結婚
- 結婚予算チェック
- ドレスの選択
- ダンドリチェック
- 何でも相談

GO HOME

☐ attention      結婚直前：180日前

そろそろ式場を決めましょう！

- 今人気の結婚式のスタイル！      [1997.5.5]
- あなたはどんなタイプの式がむいてる！？

97-98コンセプトアルバムコレクション  
Elizabeth エリザベート

2人の生活と2人のお金 第2話  
ナツオとトモミのハッピーマネー講座      [1997.6.13]

☐ special

相・性・占・い <会員ONLY> 彼には秘密！二人の相性バッチリ占います。

☐ profile

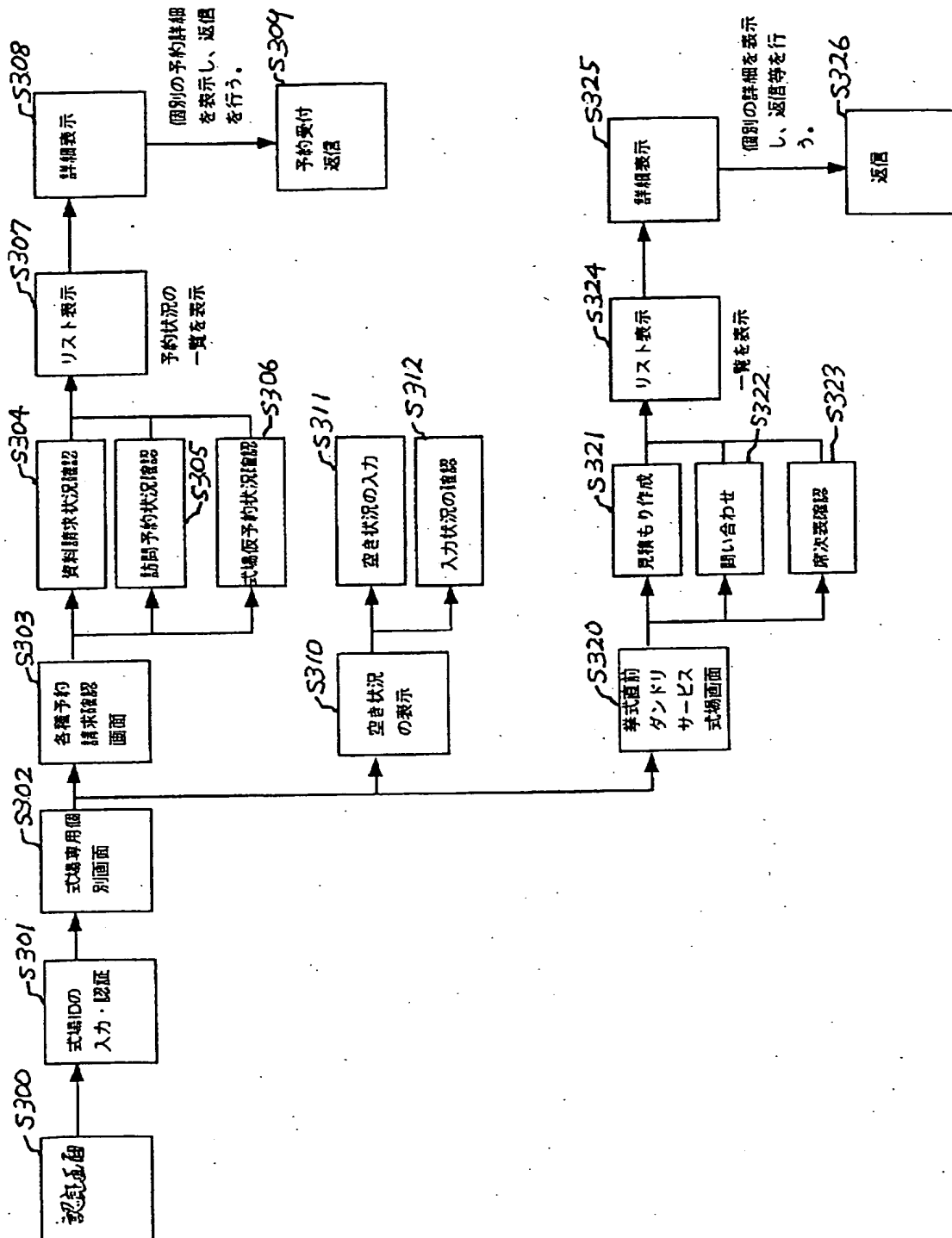
名前：山田太郎    性別：男    年齢：26歳    式場：未定  
挙式予定日：1997年11月3日

c 挙式日から逆算してやっておかなければならない項目の告知

d ユーザーの属性情報

e 結婚式場の検索やHOW TOの情報への入り口

【図5】





### ○X閣空き状況

平安閣の9月・10月の空き状況は以下の通りです。

日	月	火	水	木	金	土
	1 大安	2 友引	3 赤口	4 仙滅	5 先負	6 大安
7 先勝	8 仙滅	9 大安	10 友引	11 赤口	12 仙滅	13 先負
14 先負	15 仙滅	16 大安	17 先負	18 仙滅	19 大安	20 仙滅
21 先勝	22 仙滅	23 大安	24 友引	25 赤口	26 仙滅	27 先負
28 先負	29 仙滅	30 大安				

日	月	火	水	木	金	土
	1 先負	2 仙滅	3 大安	4 仙滅		
5 先勝	6 仙滅	7 大安	8 友引	9 赤口	10 仙滅	11 先負
12 先勝	13 仙滅	14 大安	15 友引	16 赤口	17 仙滅	18 先負
19 先勝	20 仙滅	21 大安	22 友引	23 赤口	24 仙滅	25 先負
26 大安	27 友引	28 赤口	29 仙滅	30 先負	31 仙滅	

×：空きはありません

●：まだまだあります

▲：条件により空きがあります

【圖 22】

<<受取人未設定>>, <<標準なし>>

☐ ☒ EIN  
RR

To: XY@wwwadmin.oo0o.jp  
From: yamamoto@inpro0.inp.recruit.co.jp (yamamoto)  
Subject: 11002  
Cc:  
Bcc:  
Attachments:

検索項目番号をここに入力返信

【図15】

(a)

step1 : 式場選択

☐ OX 館   ☐ ΔΔ 館   ☐ ○○ 荘   ☐ 横浜XXXXホテル  
☐ マ△バルク   ☐ ○○○○○○○ホール   ☐ ○△△バstral  
☐ XX ホテル東京ベイ   ☐ 東京XXXX

選択



(b)

step2 : 条件入力

新郎氏名 :  
新婦氏名 :  
日曜 : ☐ 大安(祝・休日)   ☐ その他  
挙式スタイル : ☐ 教会式   ☐ 神前式   ☐ 人前式   ☐ 仏前式  
披露宴人数 : 人  
料理 : ☐ 和食   ☐ 洋食   ☐ 中華   ☐ 和洋折衷  
新婦衣装 : ☐ 持ち込み   ☐ レンタル  
新郎衣装 : ☐ 持ち込み   ☐ レンタル  
引出物 : ☐ 持ち込み  
司会者 : ☐ 本人用意   ☐ 式場用意

フリーコメント

決定

【図16】

山田 太郎様  
以下の式場・ホテルより見積もりがきています。

◎○X 獨  
○△△ 獨  
○東京XXXX  
○▽△バルク

チェックして見るのボタンで詳細をご覧ください。

見る



○X 獨 見積もり結果

60名 12月 大安 祝日

項目	価格	備考
挙式	48000	教会式
料理	560000	洋食@7000円
飲み物	120000	フリードリンク@1500円
新婦衣装	160000	
新郎衣装	30000	
控室料	0	
座料	41000	
介添え料	8500	
引出物	280000	
ケーキ	37000	
装花	57000	
写真	51000	

1500000円(税・サービス別途:15000円)

その他

音響:10000~/司会者:40000~/ピアノ/炎症:50000~  
ビデオ撮影:60000~

コメント

お待なプランもございます。50名 100万円等  
教会は25mのバージンロードが特徴です。

【図17】

(a)

山田太郎さんのページ	結婚まであと100日 そろそろ、式場を決定しましょう！
個人情報変更	

(b)

山田太郎さんのページ	個人情報変更画面
個人情報変更	新郎名前：山田太郎 25歳 新婦名前：鈴木花子 24歳 結婚予定：12月15日 式場決定入力

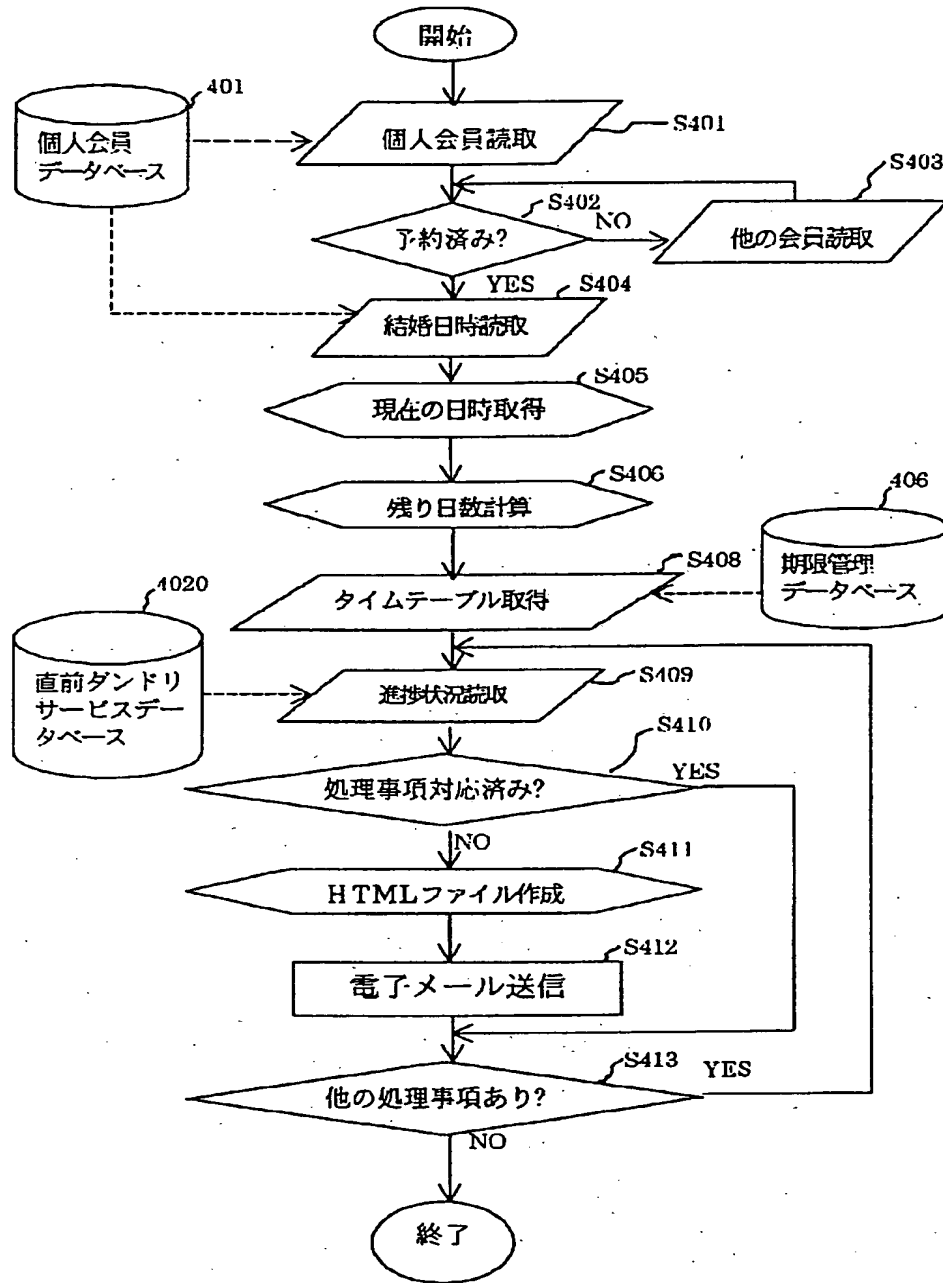
(c)

山田太郎さんのページ	個人情報変更画面
個人情報変更	●決定した式場を選んで下さい。 ★×××× サービス加盟式場 式場選択 <input type="text" value="日本閣"/> 上記にない場合下記に記入してください。 ★×××× サービス非加盟式場 <input type="text"/> ●決定した日時を記入してください。 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 ●披露宴人数に関して <input type="text"/> 名 ●式のタイプに関して <input type="checkbox"/> 教会式 <input type="checkbox"/> 神前式 <input type="checkbox"/> 人前式 <input type="checkbox"/> 仏前式 ●引出物に関して <input type="checkbox"/> 決定済み <input type="checkbox"/> 未決定 ●2次会に関して <input type="checkbox"/> 決定済み (場所： <input type="text"/> ) <input type="checkbox"/> 未決定

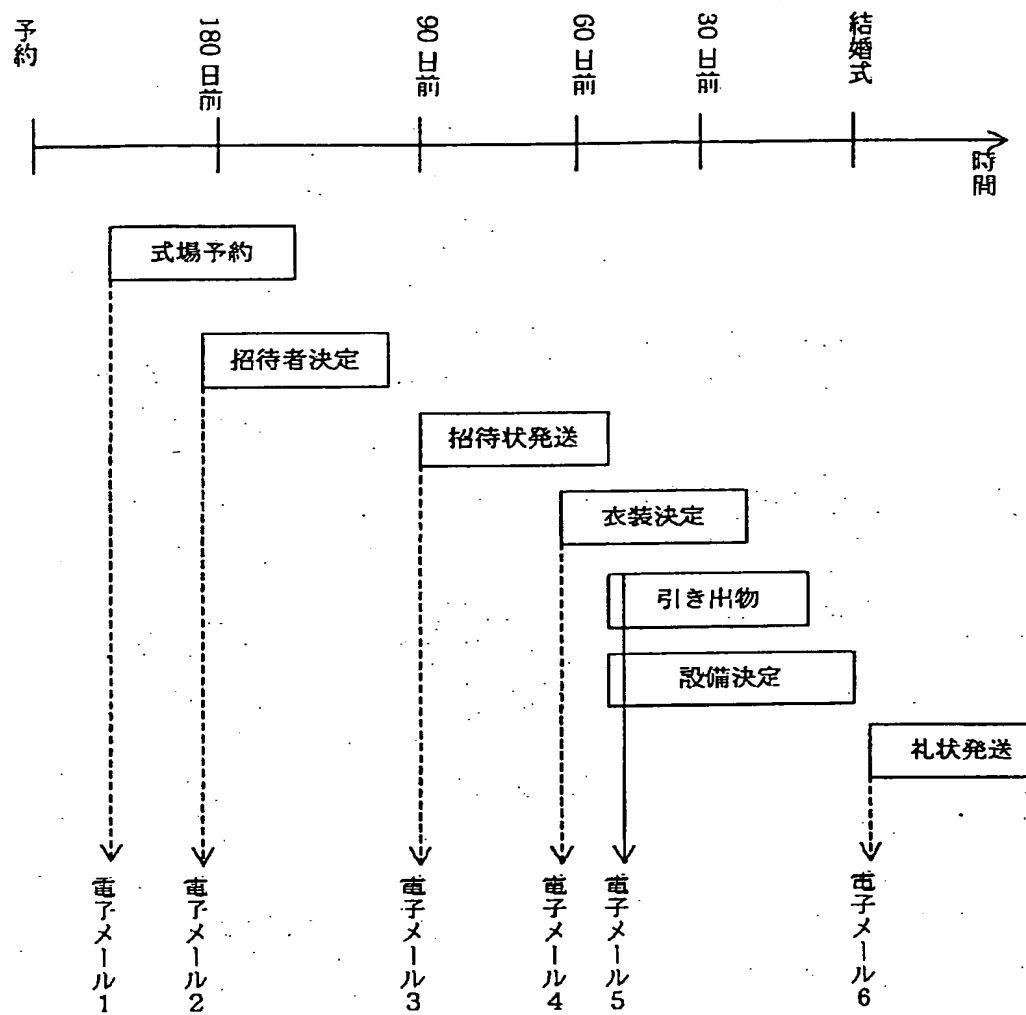
【図18】

<b>本人の情報</b>	
名前	<input type="text"/>
ふりがな	<input type="text"/>
性別	<input type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女
血液型	<input type="text" value="A型"/>
生年月日	<input type="text"/>
住所	<input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/>
<b>相手の情報</b>	
名前	<input type="text"/>
ふりがな	<input type="text"/>
性別	<input type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女
血液型	<input type="text" value="A型"/>
生年月日	<input type="text"/>
住所	<input type="text"/>
<b>結婚関連の情報</b>	
挙式予定日	<input type="text"/>
挙式予定会場	<input type="text"/>
挙式希望スタイル	<input type="radio"/> 教会 <input type="radio"/> 神前 <input type="radio"/> 人前 <input type="radio"/> その他
予算予定額	<input type="text"/>
新婚旅行希望先	<input type="text"/>
<input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="取消"/>	

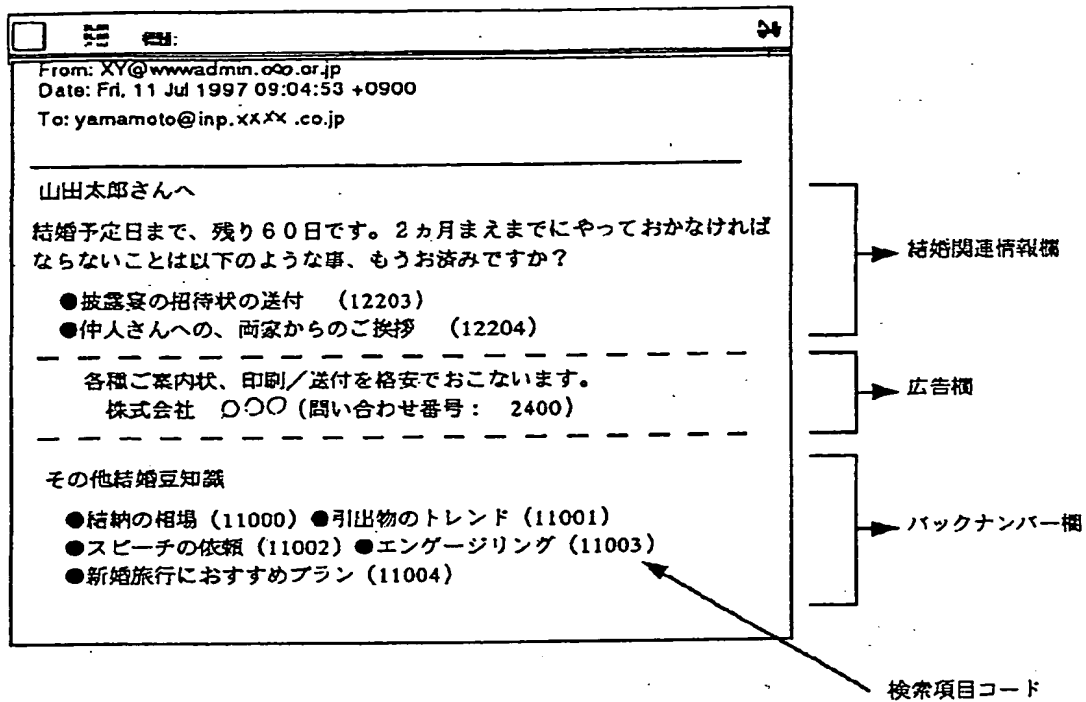
【図19】



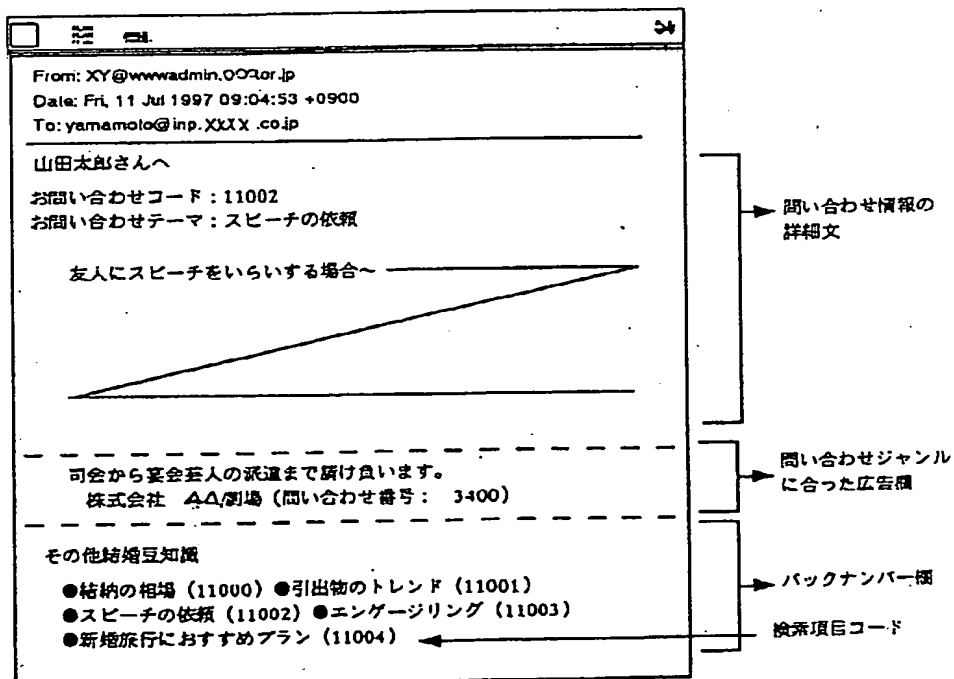
【図20】



【図21】

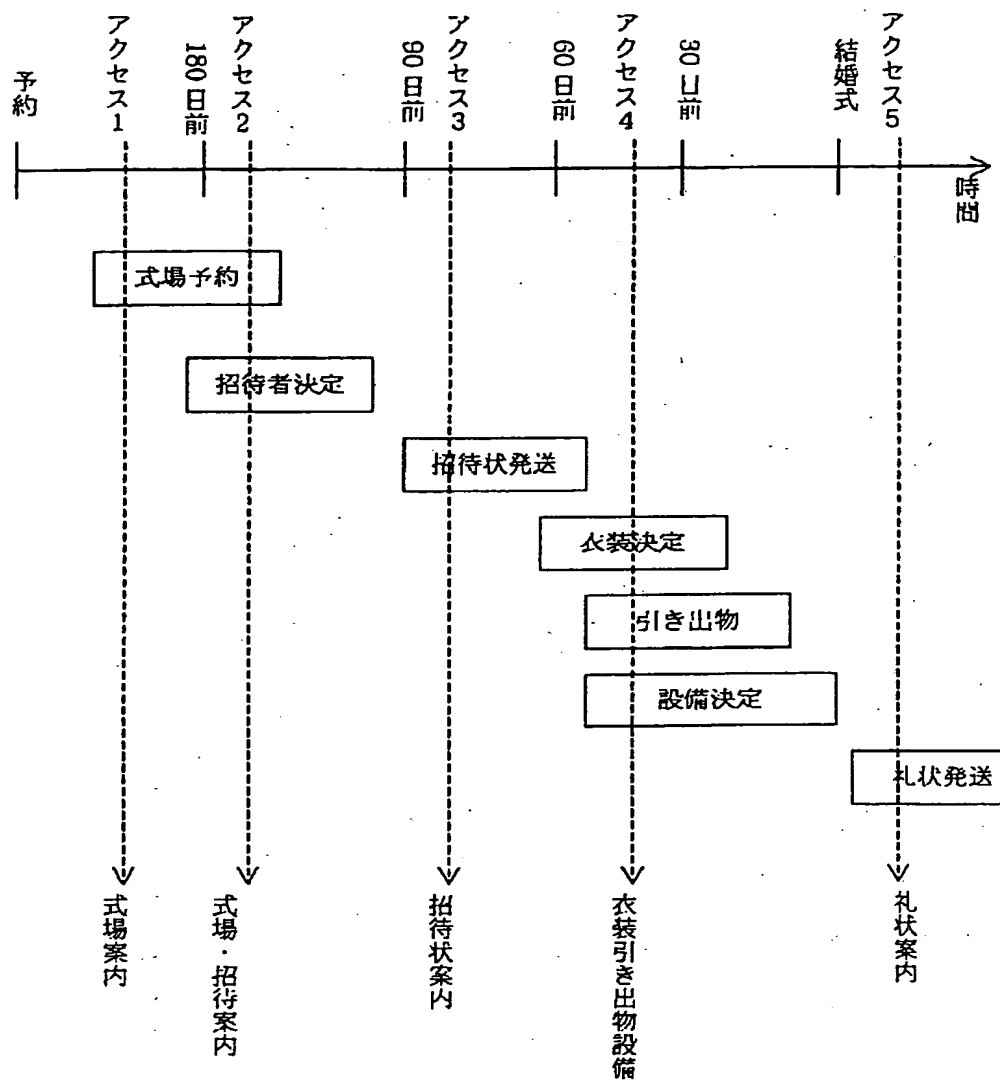


【図23】



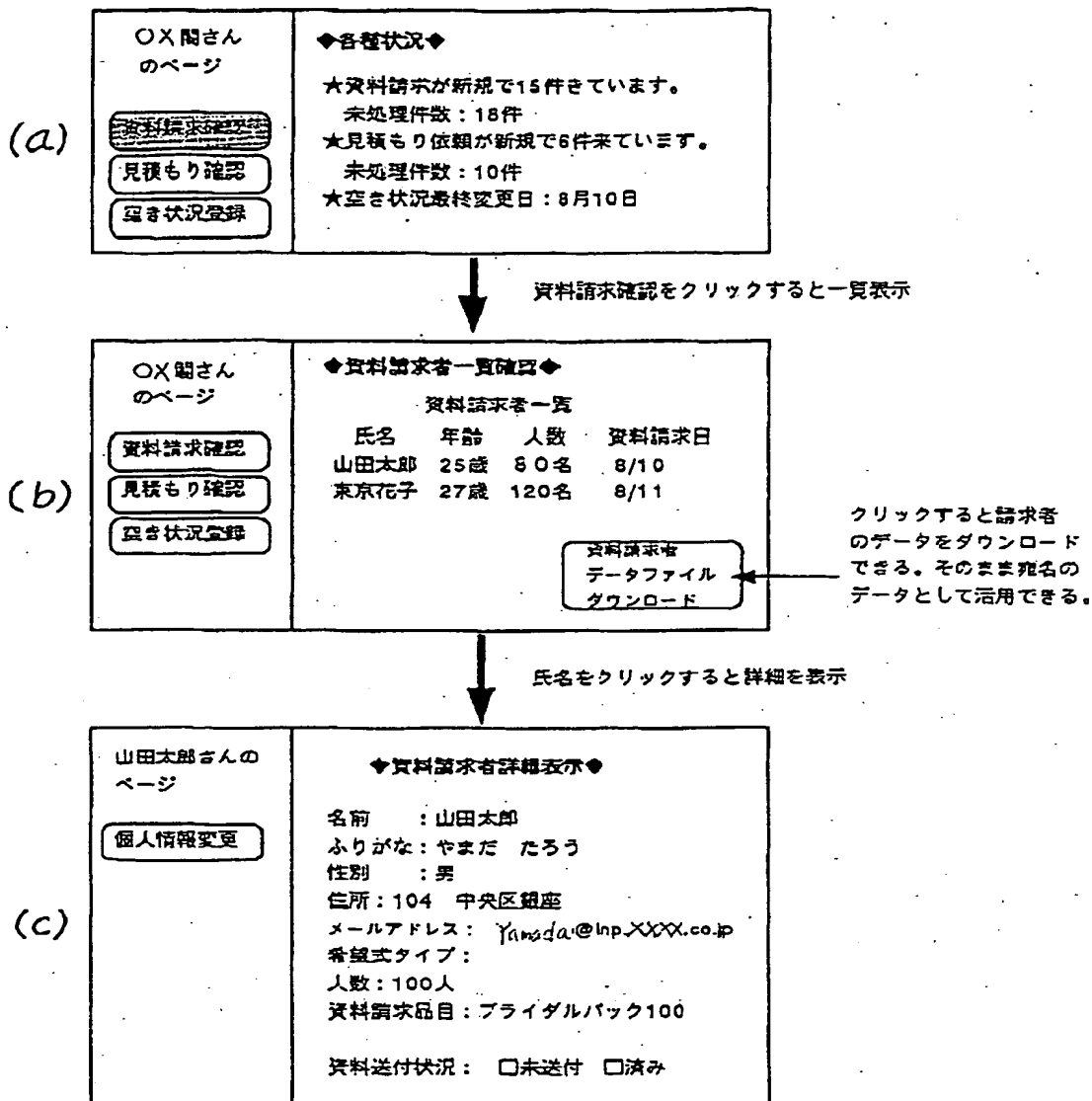


【図24】



【図25】

## 式場専用画面



【図26】

〇〇〇 ネット訪問予約・資料請求希望者リスト

ホテル 〇〇様  
担当 〇〇様

97/7/1~97/7/10  
tel: 03-3575-0000

請求日時 ID	フリガナ 氏名	性別	年齢	電話番号	電子メールアドレス	職業 挙式予定	住所	業種 備考
1997/6/19 11111111	ヤマダタロウ 山田太郎	男	26歳	03-0000-XXXX	Yamada @imp. xxxx.co.jp	〒104 東京都中央区銀座 会社員 1997年11月挙式予定		電気・電子 訪問予約 97/7/7 希望
1997/6/19 11111111	トウモロコシ 東京花子	女	25歳	03-0xxx-x000	Tokyo @imp. 000x.co.jp	〒 東京都新宿区 会社員 1997年9月挙式予定		電気・電子 訪問予約 97/7/7 希望
1997/6/19 11111111	スズキシンゴ 鈴木次郎	男	26歳	03-0xxx-xxxx	Suzuki @imp. 000x.co.jp	〒 東京都足立区 会社員 1997年10月挙式予定		機械 資料希望
1997/6/19 11111111	オサキウラコ 大阪うら子	女	28歳	03-0xxx-00xx	Osaka @imp. 000x.co.jp	〒 東京都豊島区銀座 会社員 1997年9月挙式予定		文具 資料希望

【図28】

## 式場専用画面

(a)

○X閣さんのページ

資料請求確認

仮予約確認

空き状況登録

◆各種状況◆

★式場仮予約が新規で5件きています。  
未処理件数：8件

★見積もり依頼が新規で6件きています。  
未処理件数：10件

★空き状況最終変更日：8月10日

↓ 空き状況登録をクリックする

(b)

○X閣さんのページ

資料請求確認

仮予約確認

空き状況登録

◆空き状況入力画面<月選択画面>◆

\*入力したい月を選択してください。

1997年 ☐8月 ☒9月 ☐10月 ☐11月 ☐12月

1998年 ☐1月 ☐2月 ☐3月 ☐4月

↓ 入力へ

(c)

○X閣さんのページ

資料請求確認

仮予約確認

空き状況登録

◆空き状況入力画面◆

September 1997

S	M	T	W	T	F	S
1	0	2	1	0	1	1
1	0	2	1	0	1	1
1	0	2	1	0	1	1
1	0	2	1	0	1	1
0	0	1				

0：空きはありません 1：まだまだあります  
2：条件により空きがあります

【図29】

## 式場専用画面

(a)

○Xさんのページ <input type="button" value="資料請求確認"/> <input type="button" value="仮予約確認"/> <input type="button" value="空き状況登録"/>	<b>◆各種状況◆</b> ★式場仮予約が新規で5件きています。 未処理件数: 8件 ★見積もり依頼が新規で5件きています。 未処理件数: 10件 ★空き状況最終変更日: 8月10日
--	--

↓ 空き状況登録をクリックする

(b)

○Xさんのページ <input type="button" value="資料請求確認"/> <input type="button" value="仮予約確認"/> <input type="button" value="空き状況登録"/>	<b>◆見積もり状況確認画面&lt;一覧リスト&gt;◆</b> 見積もり希望者一覧<未対応分> <table border="1"> <thead> <tr> <th>氏名</th> <th>年齢</th> <th>人数</th> <th>挙式希望日</th> <th>入力日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山田太郎</td> <td>25歳</td> <td>80名</td> <td>12/15</td> <td>8/10</td> </tr> <tr> <td>鈴木花子</td> <td>27歳</td> <td>120名</td> <td>11/10</td> <td>8/11</td> </tr> </tbody> </table> 見積もり希望者一覧<対応分> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>鈴木一郎</td> <td>25歳</td> <td>80名</td> <td>12/15</td> <td>8/9</td> </tr> </tbody> </table>	氏名	年齢	人数	挙式希望日	入力日	山田太郎	25歳	80名	12/15	8/10	鈴木花子	27歳	120名	11/10	8/11	鈴木一郎	25歳	80名	12/15	8/9
氏名	年齢	人数	挙式希望日	入力日																	
山田太郎	25歳	80名	12/15	8/10																	
鈴木花子	27歳	120名	11/10	8/11																	
鈴木一郎	25歳	80名	12/15	8/9																	

↓ 入力へ

(c)

○Xさんのページ <input type="button" value="資料請求確認"/> <input type="button" value="仮予約確認"/> <input type="button" value="空き状況登録"/> <input type="button" value="見積もり確認"/>	<b>◆見積もり確認画面◆</b> 新郎氏名 : 山田太郎 新婦氏名 : 鈴木花子 日程 : 12月15日大宴(祝・休日) 挙式スタイル : 教会式 披露宴人数 : 80人 料理 : 和食 新婦衣装 : 持ち込み 新郎衣装 : レンタル 引出物 : 持ち込み 司会者 : 本人用意 飲み物 : <input type="text"/> 控室料 : <input type="text"/> 席料 : <input type="text"/> 介添え料 : <input type="text"/> 引出物 : <input type="text"/> ケーキ : <input type="text"/> 装花 : <input type="text"/> 写真 : <input type="text"/> フリーコメント : <input type="text"/>
---	--

ユーザーが入力した条件が自動表示

価格をいれる。



Creation date: 12-03-2004  
Indexing Officer: TPHAM9 - TIEN PHAM  
Team: OIPEBackFileIndexing  
Dossier: 09549936

Legal Date: 06-30-2000

No.	Doccode	Number of pages
1	LET.	6

Total number of pages: 6

Remarks:

Order of re-scan issued on .....